brother

本書をよくお読みになって製品をご利用ください。

ユーザーズガイド
－ネットワーク設定編－

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、
故障かな？と思ったときなどは、
右記の手順で原因をお調べください。

1 ネットワーク設定について困ったときは

第15章 困ったときは（トラブル対処方法）

2 ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる

http://solutions.brother.co.jp/

サポート ブラザー　検索

オンラインユーザー登録をお勧めします。

ブラザーマイポータル

ブラザーマイポータル会員専用サイト

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

オンラインユーザー登録 ▶ https://myportal.brother.co.jp/

Version A JPN

目　次

本書の見かた

本文中では、マークおよび商標について、次のように表記しています。

マークについて

	本製品をお使いになるにあたって、注意していただきたいことがらを説明しています。
メモ	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。

液晶ディスプレイモデルとタッチパネルモデルについて

本書では、画面上に表示されたボタンやテンキーを直接押して操作するタッチパネル機能を備えているモデルのことをタッチパネルモデル（MFC-935CDN/935CDWN/J950DN/J950DWN）、それ以外を液晶ディスプレイモデル（DCP-390CN/595CN、MFC-495CN/695CDN/695CDWN）と記載しています。

イラストについて

外観イラストは MFC-695CDN を代表で使用しています。
操作パネルのボタンのイラストは、液晶ディスプレイモデルでは MFC-695CDN を、タッチパネルモデルでは MFC-935CDN を使用しています。モデル特有の機能の場合は、該当モデルのボタンのイラストを使用しています。
お使いのモデルによっては本書で使用している操作パネルのボタンとデザインが異なる場合があります。該当するボタンに読み替えてください。

商標について

Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
Windows® XP Professional x64 Edition の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system Professional x64 Edition です。（本文中では Windows® XP と表記しています。）
Windows Server® 2003 の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating system です。
Windows Server® 2003 x64 Edition の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system です。（本文中では Windows Server® 2003 と表記しています。）
Windows Server® 2008 の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 operating system です。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating system です。
Windows® 7 の正式名称は、Microsoft® Windows® 7 operating system です。
本文中では、OS 名称を略記しています。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac OS、iBook は、Apple Inc. の登録商標です。
Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Ethernet は Xerox Corporation の商標です。
Wi-Fi、WPA、WPS2 は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
AOSS は、株式会社バッファローの商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

編集ならびに出版における通告

ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

ネットワークの概要

本製品のネットワークインターフェースを利用して LAN または WAN に接続し、ネットワーク上のパソコンから本製品で原稿のスキャンや印刷ができます。
本製品は、IEEE802.11b/g 無線ネットワークに対応し、無線認証およびセキュリティを使用したインフラストラクチャ通信またはアドホック通信で動作します。
付属のソフトウェア BRAdmin Light を使用して、ネットワークインターフェースの設定ができます。
本書は、本製品をネットワーク上で使用するために必要な設定方法について説明しています。

特長と機能

ネットワークプリンター機能

（Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003/2008、Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6.x）
本製品のネットワークインターフェースは TCP/IP に対応しています。TCP/IP の印刷プロトコルを使用して、ネットワーク上のパソコンから直接印刷できます。

ネットワークスキャン機能

（Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6.x）
白黒またはカラーでスキャンした画像データを、ネットワーク上のパソコンへ直接保存できます。

ネットワーク PC-FAX 送信機能（MFC モデルのみ）

（Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6.x）
アプリケーションで作成したファイルを、ファクスとして送信できます。あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクスの送信時に便利です。

ネットワーク PC-FAX 受信機能（MFC モデルのみ）

（Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows® 7）
受信したファクスを、本製品とネットワーク接続しているパソコンに送ります。パソコン上で内容を確認してから印刷できます。詳しくは、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

ネットワークリモートセットアップ機能（MFC モデルのみ）

（Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6.x）
本製品の設定をパソコンから変更したり、本製品の電話帳を編集することができます。

ネットワークメディアカードアクセス機能

（Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6.x）
本製品に挿入したメディア（メモリーカードや USB フラッシュメモリー）にネットワーク経由でアクセスできます。

管理ユーティリティ BRAdmin Light

（Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003/2008、Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6.x）
付属のソフトウェア BRAdmin Light を使用すると、本製品のネットワークインターフェースの設定が簡単にできます。

管理ユーティリティ BRAdmin Professional

（Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows® 7）

BRAdmin Professional を使用すると、ブラザー製品のネットワークインターフェースや PC-FAX 送信時に使用する電話帳の設定をまとめて管理できます。BRAdmin Professional は、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

無線 LAN 機器使用の際のご注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。



本製品の設置場所によって、最大 70m まで届きます。最大の到達距離や通信速度は、設置する環境と使用する機器の種類により異なります。

電波に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品のチャンネルを変更するか、または電波の発射を停止してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りの場合は、弊社「お客様相談窓口」へお問い合わせください。

電波の種類と干渉距離

2.4 DS4/OF4

「2.4」：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。
「DS」：変調方式が DS-SS 方式であることを表す。（IEEE802.11b のとき）
「OF」：変調方式が OFDM 方式であることを表す。（IEEE802.11g のとき）
「4」：想定される与干渉距離が 40m 以下であることを表す。
「---」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

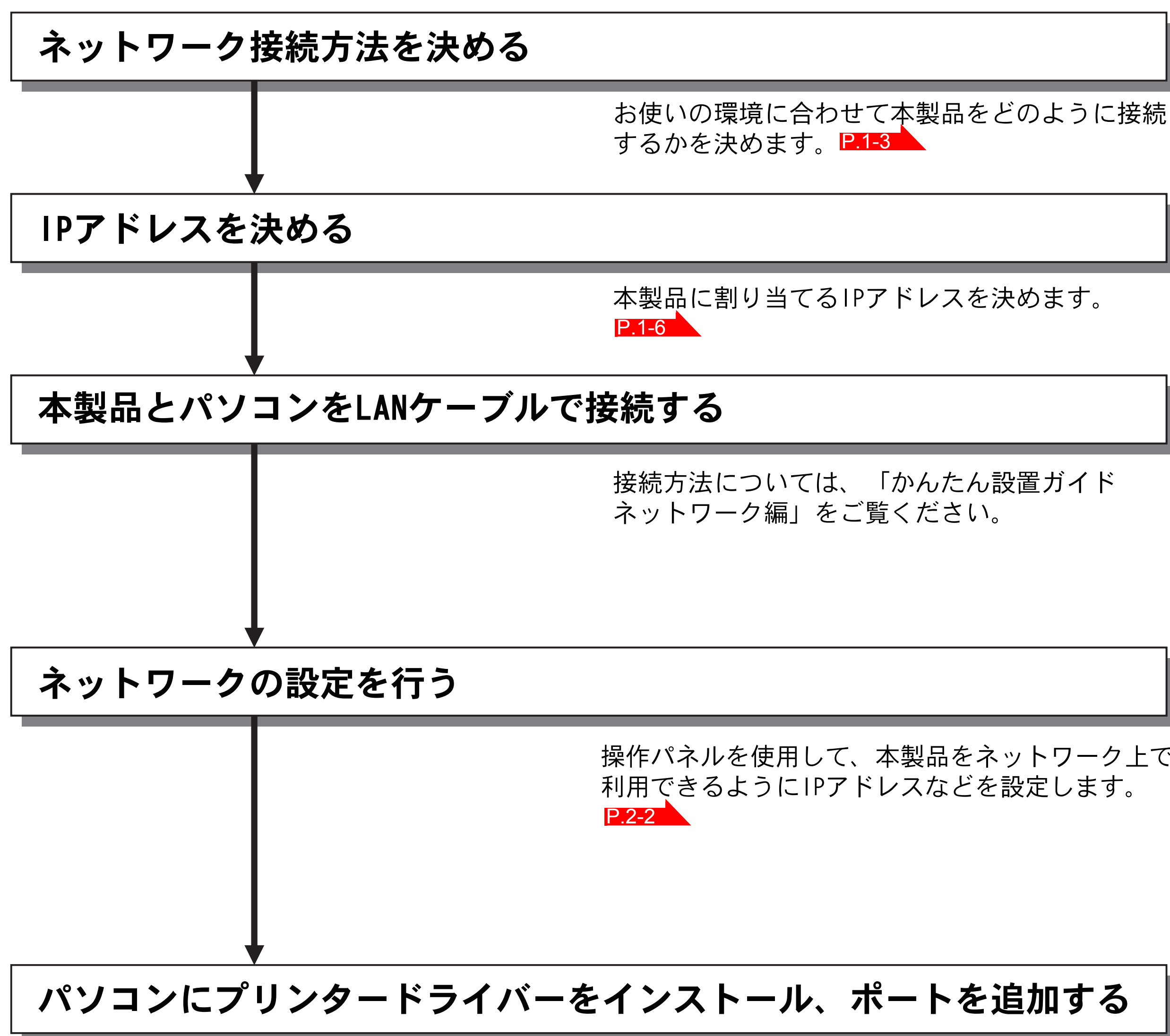
やりたいこと目次

はじめに

第 1 章 ネットワークで使う前に

ネットワーク導入作業の流れ

「かんたん設置ガイド ネットワーク編」の手順に従ってドライバーのインストールを進めると、自動的にネットワークの設定が完了します。
手動でインストールする場合は、次の手順で行います。



ネットワークの接続方法について

ネットワークプリンターを接続する場合、各コンピューターからブロードバンドルーターやハブを通じて直接本製品を使用する「ピアツーピア接続」と、本製品に接続しているコンピューターを経由して使用する「ネットワーク共有」があります。

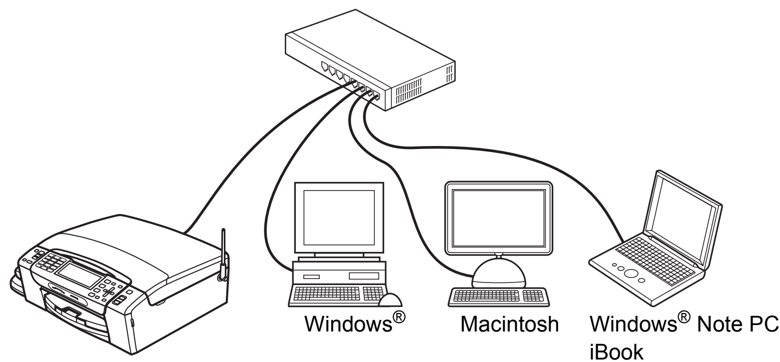


本書ではピアツーピア接続の設定方法について記載しています。
ネットワーク共有の設定方法については、オペレーティングシステムの共有プリンターに関する説明やヘルプを参照してください。

有線 LAN の場合

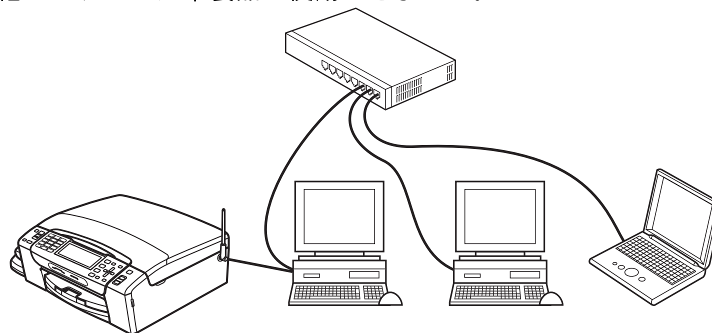
ピアツーピア接続

各パソコンにプリンターポートの設定が必要です。



ネットワーク共有

プリンターに直接接続されているパソコンにのみプリンターポートを設定し、そのパソコンを経由して他のパソコンも本製品を共有します。ただし、本製品に接続されているパソコンの電源が入っていないと、他のパソコンは本製品を使用できません。





ネットワーク共有の方法については Windows® の共有プリンターに関する説明やヘルプを参照してください。

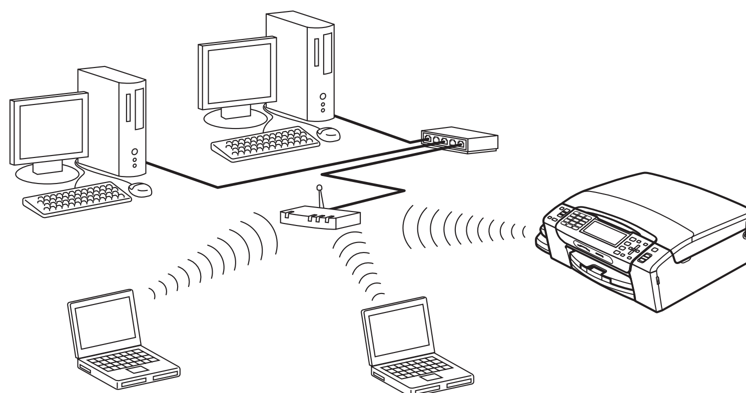
無線 LAN の場合

無線 LAN には、インフラストラクチャ通信とアドホック通信の 2 つのタイプがあります。

インフラストラクチャ通信

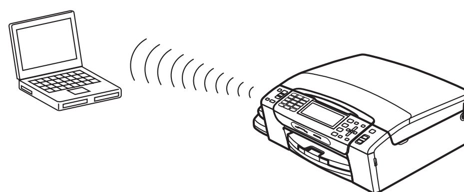
（推奨：本ガイドでは、インフラストラクチャ通信による設定について説明しています。）

インフラストラクチャ通信のネットワークでは、ネットワークの中心に無線 LAN アクセスポイントが設置され、有線のネットワークへ橋渡しをする他にゲートウェイとしても機能します。本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブを無線 LAN アクセスポイントを経由して受け取ります。



アドホック通信

アドホック通信のネットワークでは、無線 LAN アクセスポイントが存在しません。それぞれの無線機器は個別に直接通信します。本製品をアドホックモードに設定している場合は、印刷データを送信するコンピューターからすべての印刷を直接受け取ります。





- アドホック通信は、機器間のみで通信を行います。セキュリティレベルが低いため、インターネットをご利用の場合は、インフラストラクチャ通信を行うことをお勧めします。
- アドホック通信を行うための設定は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）の「よくあるご質問（Q&A）」をご覧ください。

ネットワーク接続に必要な環境を整える

本製品をネットワーク上で使用するために、あらかじめ準備したり調べておくものについて説明します。

準備するもの

本製品の他に準備するのは、LAN ケーブル（ストレートケーブル）です。複数のパソコンを接続する場合は、ハブまたはハブ機能を内蔵するルーターを準備してください。

LAN ケーブル

本製品やパソコン、またはハブなどの機器同士をつなぐケーブルです。LAN ケーブルにはいろいろな規格がありますが、現在一般的なのはカテゴリ 5E という規格のケーブルです。5E の E は「Enhanced」の略で、「強化された」という意味を持っています。カテゴリ 5E のケーブルはカテゴリ 5 のケーブルよりもノイズに強い作りになっています。
また、同じカテゴリのケーブルにも「ストレートケーブル」と「クロスケーブル」の 2 種類があります。ストレートケーブルはルーターとパソコンの接続、パソコンとハブの接続に使用されるケーブルで、ほとんどの場合はストレートケーブルで接続が可能です。クロスケーブルは 2 台のパソコン同士を直接接続するときなどに使用されます。

ケーブルの長さは、機器間の距離に多少の余裕を持って購入してください。



無線 LAN をご利用の場合でも、無線対応していないパソコンとネットワーク接続するときは、LAN ケーブルが必要です。この場合、パソコンと無線 LAN アクセスポイントを LAN ケーブルで接続してください。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントの説明書をご覧ください。

ハブ

複数台のパソコンなどをネットワーク接続するときに必要な集線装置です。ハブには、大きく分けて「リピータハブ」と「スイッチングハブ」があります。リピータハブは主に 10BASE-T で使用される集線装置です。スイッチングハブは主に、100BASE-TX や 1000BASE-T に使用される集線装置で、信号の流れを制御してコリジョンという信号の衝突が起きないようにする機能を持っています。
ハブに接続できる機器の数はハブのポート数によって決まります。お使いの環境から、何台の機器を接続するかを検討して購入してください。

ルーター

ADSL や CATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスの LAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。ルーターを使用すると、接続した各機器に自動で IP アドレスを割り当てる DHCP 機能や、LAN 内の独自の IP アドレス（プライベート IP アドレス）を持つ機器に、必要に応じてインターネット用の IP アドレス（グローバル IP アドレス）を割り当てる NAT 機能があります。
さらにインターネット接続に必要なプロトコルに対応していたり、インターネットからの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能などを持っている機器もあります。



- 無線 LAN をご利用の場合は、無線 LAN アクセスポイント（無線 LAN ルーター）または無線 LAN 対応のパソコンが必要です。
- ルーターにハブ機能が内蔵されている場合は、別途準備する必要はありません。

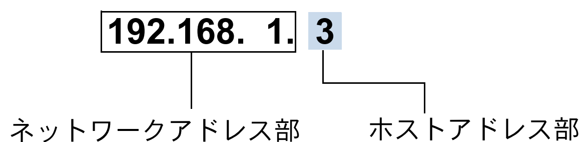
IP アドレスを決める

● IP アドレスとは

IP アドレスは、接続しているパソコンの住所にあたるものです。TCP/IP ネットワークに接続するパソコンなどの機器（ノード）には、必ず IP アドレスを割り当てる必要があります。
IP アドレスは、0 ～ 255 までの数字を「.（ピリオド)」で区切って「192.168.1.3」のように表現します。
ローカルネットワークでは、IP アドレスはサブネットマスクによって「ネットワークアドレス部」と「ホストアドレス部」に分割されています。サブネットマスクを設定することにより、ホストアドレス部だけでそのネットワーク全体を管理できます。IP アドレスとサブネットマスクは常にセットで管理してください。

192.168.　1.3　　　IP アドレス
255.255.255.0　　　サブネットマスク

と設定されている場合、



という意味を持っています。このうち利用可能なホストアドレス部の値は、予約された "0" と "255" を除いた 1 ～ 254 の範囲で、「192.168.1.3」は、

192.168.1.1~254

の中のひとつのアドレスであることがわかります。このネットワークに本製品を追加する場合は、ホストアドレス部に重複しないよう変更した値を割り当ててください。



予約されているアドレス
上記の例では、192.168.1.0 がネットワークアドレス、192.168.1.255 がブロードキャストアドレスとなり、本製品に割り当てることはできません。

IP アドレスは次の方法で割り当てます。

IP アドレス配布サーバーを利用している場合

本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。ほとんどのルーターは、この機能を持っています。

IP アドレス配布サーバーを利用していない場合

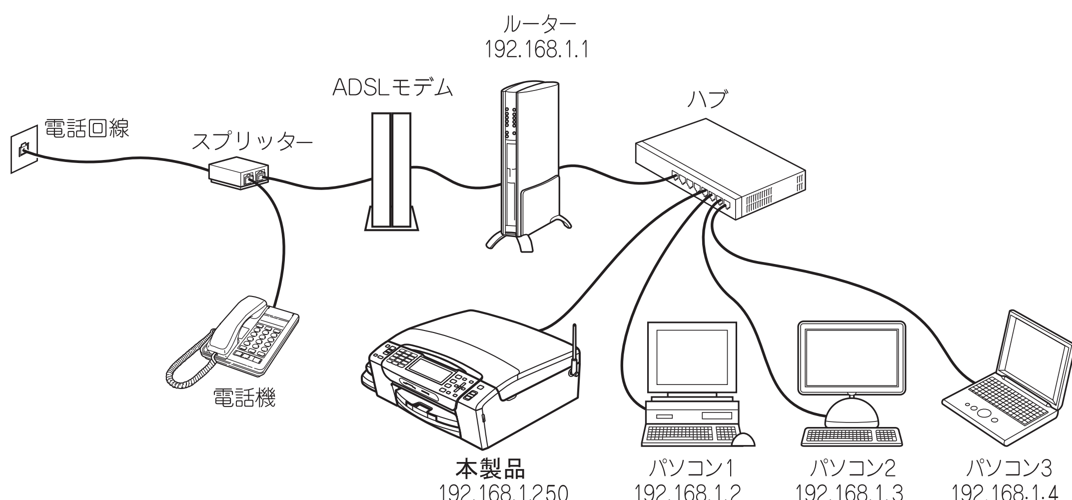
DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合でも APIPA（AutoIP）機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、割り当てられた IP アドレスがお使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdimin Light や本製品の操作パネルを使用して本製品の IP アドレスを変更してください。

IP アドレスの決め方

本製品を同じネットワーク上に接続するためには、現在使用しているルーターなどの初期値に合わせると簡単に設定、管理することができます。IP アドレスを手動で設定する場合は次のように設定します。
ルーターの LAN 側 IP アドレスが「192.168.1.1」、サブネットマスクが「255.255.255.0」である場合、接続する本製品やパソコンにネットワークアドレス部は同じ値を設定し、ホストアドレス部にはそれぞれ異なる値を割り当てます。ここでは「2 ～ 254」の範囲で設定します。
次の例を参考に、接続する機器の IP アドレスを設定してください。

例）

機器名（ノード）	IP アドレス	サブネットマスク
ルーター	192.168.1.　1	255.255.255.0
本製品	192.168.1.250	255.255.255.0
パソコン 1	192.168.1.　2	255.255.255.0
パソコン 2	192.168.1.　3	255.255.255.0
パソコン 3	192.168.1.　4	255.255.255.0





ネットワーク管理者がいるときは

事務所などで多くの機器をネットワーク接続している場合は、ネットワークを管理している担当者に使用できる IP アドレスなどを問い合わせてください。数値を適当に設定すると、ネットワーク接続できないなどトラブルの原因になります。



ネットワーク内にルーターがあるときは

ルーターにも IP アドレスが割り当てられています。その IP アドレスを本製品またはパソコンに設定しないでください。ルーターの IP アドレスはルーターの取扱説明書を確認するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



DHCP 環境でお使いの場合

ルーターには DHCP 機能があり、初期状態で有効になっている場合があります。このときはルーターの DHCP 機能を無効にするか、本製品の IP アドレス取得方法を【Static】にしてください。

⇒「IP 取得方法」P.3-2

ルーターについては「かんたん設置ガイド ネットワーク編」をご覧ください。

TCP/IP を利用して印刷するには、本製品に IP アドレスを割り当てる必要があります

使用するパソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本製品の間にルーターが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。



ゲートウェイの設定

ルーターはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルーターが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルーターの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルーターの取扱説明書をご覧ください。



現在の IP アドレスを確認するには、「ネットワーク 設定内容リスト」を印刷してください。⇒「ネットワーク設定リストの出力」P.2-7

ネットワークの設定

第 2 章 ネットワークの接続方法を設定する

操作パネルから設定する

操作パネルは、スタートボタンなどさまざまな機能を持つボタンと液晶ディスプレイまたはタッチパネルから構成されています。操作パネルやタッチパネルのボタンを使用して、ネットワークで使用するための設定ができます。
MFC-935CDN/935CDWN/J950DN/J950DWN は、画面上に表示されたボタンやテンキーを直接押して操作するタッチパネル機能を備えています。本書ではこれらのモデルのことをタッチパネルモデル、それ以外を液晶ディスプレイモデルと記載しています。

ボタンと液晶ディスプレイ／タッチパネル

パソコンから操作しなくても、操作パネルやタッチパネルのボタンを使って本製品のネットワークの設定項目を変更できます。液晶ディスプレイまたはタッチパネルには、現在の設定内容や選べる項目名が表示されます。

操作パネルから設定や確認ができる項目

本製品の操作パネルを使って、次の項目を設定できます。

メニュー名と項目名				参照先
ネットワーク	有線 LAN	TCP/IP*1	IP 取得方法	P.3-2
			IP アドレス	P.3-3
			サブネット マスク	P.3-5
			ゲートウェイ	P.3-7
			ノード名	P.3-9
			WINS 設定	P.3-11
			WINS サーバ	P.3-12
			DNS サーバ	P.3-14
			APIPA	P.3-16
		イーサネット *1		P.3-18
		MAC アドレス *1		P.3-20
	無線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	P.4-26
			IP アドレス	P.4-27
			サブネット マスク	P.4-28
			ゲートウェイ	P.4-29
			ノード名	P.4-31
			WINS 設定	P.4-33
			WINS サーバ	P.4-34
			DNS サーバ	P.4-36
			APIPA	P.4-38
		無線接続ウィザード		P.4-42
		WPS/AOSS		P.4-52
		WPS（PIN コード）		P.4-54
		無線状態	接続状態	P.4-55
			電波状態	P.4-55
			SSID	P.4-56
			通信モード	P.4-56
		MAC アドレス		P.4-57

*1 DCP-390CN で表示されるメニューです。【ネットワーク】を選択すると【TCP/IP】、【イーサネット】、【MAC アドレス】、【ネットワーク設定リセット】が表示されます。DCP-390CN は無線 LAN には対応していません。

メニュー名と項目名		参照先
ネットワーク	有線 / 無線切替え	P.2-4
	ネットワーク設定リセット *1	P.2-5

*1 DCP-390CN で表示されるメニューです。【ネットワーク】を選択すると【TCP/IP】、【イーサネット】、【MAC アドレス】、【ネットワーク設定リセット】が表示されます。DCP-390CN は無線 LAN には対応していません。



付属の CD-ROM に収録されている「BRAdmin Light」を使用して設定することもできます。
Windows® の場合⇒「BRAdmin Light で設定する」P.9-1
Macintosh の場合⇒「BRAdmin Light で設定する」P.14-1

操作パネルから数字・文字を入力する方法

- 型番の先頭に「MFC」がついている機種の場合（タッチパネルモデルを除く）

  0 ～ 9 のダイヤルボタンで入力します。

- 型番の先頭に「DCP」がついている機種の場合

  ▲/▼ で入力したい値を選びます。▶ を押すと、カーソルが右に、◀ を押すとカーソルが左に移動します。

タッチパネルから数字・文字を入力する方法

タッチパネルモデルの場合は、画面に表示されている 1 ～ 9 のテンキーやキーボードで入力します。

- キーボードで入力する方法

  文字の種類は、あアA1@ を押して切り替えます。押すたびに、ひらがな→カタカナ→英字→数字→記号の順で切り替わります。

  目的の文字記号キーを押して入力します。文字記号キーには次のように文字が割り当てられています。複数の文字が割り当てられているキーは、キーを押すたびに文字が切り替わります。
  ーひらがな／カタカナ : キーに表示されている文字行の文字
  ー英字 : キーに表示されている文字の大文字と小文字
  ー数字／記号 : キーに表示されている文字



スペースは、␣ に割り当てられています。

入力した文字の変換・確定などは次のボタンを使って行います。

ー 変換 : ひらがなを漢字に変換します。

ー 確定 : 入力した文字を確定します。

ー ⌫ : 選択中の文字を消去します。◀ を押して削除したい文字までカーソルを移動し ⌫ を押します。

ー ◀ ▶ : カーソルを左右に移動します。同じボタンを続けて入力する場合には、▶ を押します。

有線 LAN ／無線 LAN を切替える (DCP-595CN、MFC-495CN/695CDN/695CDWN/935CDN/935CDWN/J950DN/J950DWN)

ネットワークの接続方法が決定したら、本製品でも接続方法を設定します。設定を切り替えた場合は、画面の説明に従って、本製品を再起動してください。



- 本製品では、無線 LAN と有線 LAN を同時に使用することはできません。同時に接続していても、【有線 / 無線切替え】で設定されている接続が有効になります。
- 無線接続の操作（WPS/AOSS™ 機能の利用または無線接続ウィザードの開始）を実行すると、自動的に【無線 LAN】に切り替わります。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 / 無線切替え】を選んで、OK を押します。

2 ▲/▼ で【有線 LAN】または【無線 LAN】を選び、OK を押します。

設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【有線 LAN】です。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 / 無線切替え】の順に押します。

2 【有線 LAN】または【無線 LAN】を押します。

設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【有線 LAN】です。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

ネットワーク設定リセット

現在のネットワーク設定を全て初期化できます。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【ネットワーク設定リセット】を選んで、OK を押します。

【ネットワーク設定をリセットしますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。
※型番の先頭に「DCP」がついている機種の場合は、【ネットワーク設定をリセットしますか？／はい ⇒⊞を押してください／いいえ ⇒⊟を押してください】と表示されます。



メニュー を押し、▲/▼ で【初期設定】、【設定リセット】、【ネットワーク設定リセット】の順に選んでも設定できます。

2 1あ（MFC-XXXX の場合）または 枚数⊞（DCP-XXXX の場合）を押します。

【再起動しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。
※型番の先頭に「DCP」がついている機種の場合は、【再起動しますか？／はい ⇒⊞を押してください／いいえ ⇒⊟を押してください】と表示されます。

3 1あ（MFC-XXXX の場合）または 枚数⊞（DCP-XXXX の場合）を押します。

数秒後に本製品が再起動します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【ネットワーク設定リセット】の順に押します。

【ネットワーク設定をリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。



【メニュー】を押し、【初期設定】、【設定リセット】、【ネットワーク設定リセット】の順に選んでも設定できます。

2 【はい】を押します。

【再起動しますか？実行する場合は、はいを 2 秒間押してください。キャンセルする場合はいいえを押してください。／はい／いいえ】と表示されます。

3 【はい】を、2 秒間押します。

数秒後に本製品が再起動します。

ネットワーク設定リストの出力

本製品の現在動作しているネットワーク接続（有線 LAN または無線 LAN）に関する設定内容（MAC アドレス、ノード名、IP アドレスなど）を印刷して確認できます。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【レポート印刷】を選び、OK【ネットワーク設定リスト】を選んで、OK を押します。

2 スタート モノクロ を押します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】、【レポート印刷】の順に押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【ネットワーク設定リスト】を押します。

3 スタート モノクロ を押します。

第 3 章 有線 LAN の設定をする

TCP/IP の設定

TCP/IP を使用して印刷するには、本製品に IP アドレスを設定します。
コンピューターと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルーターの先に本製品が接続されている場合は、ルーターのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。



DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、TCP/IP の各項目は自動的に設定されます。
それらの機能を使用しないで手動で IP アドレスを設定する場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように「IP 取得方法」を【Static】に設定してください。
⇒「IP 取得方法」P.3-2

このメニューは次の項目で構成されています。

- **IP 取得方法**
- **IP アドレス**
- **サブネットマスク**
- **ゲートウェイ**
- **ノード名**
- **WINS 設定**
- **WINS サーバ**
- **DNS サーバ**
- **APIPA**



TCP/IP を設定する他の方法

- BRAdmin Light を使用する
  Windows® の場合⇒「ネットワークインターフェースを設定する」P.9-1
  Macintosh の場合⇒「ネットワークインターフェースを設定する」P.14-1
- その他の設定方法⇒「IP アドレスの設定方法」P.16-2



設定の変更は、リモートセットアップ（MFC モデルのみ）でも行うことができます。
Windows® の場合⇒「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.8-1
Macintosh の場合⇒「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.13-1

IP 取得方法

IP アドレスの取得方法を設定します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【IP 取得方法】の順に選びます。

> メモ DCP-390CN では【有線 LAN】は表示されません。

2 ◀/▶ で【Auto】、【Static】、【RARP】、【BOOTP】または【DHCP】を選び、OK を押します。

IP アドレス取得方法が設定されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】、【IP 取得方法】の順に押します。

2 【Auto】、【Static】、【RARP】、【BOOTP】または【DHCP】を押します。

IP アドレス取得方法が設定されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

IP アドレス

本製品の現在の IP アドレスを確認できます。「IP 取得方法」で【Static】以外の取得方法が選ばれている場合は、RARP、BOOTP または DHCP のプロトコルを使用して IP アドレスを自動的に取得します。
IP アドレスを変更すると、「IP 取得方法」は自動的に【Static】に変わります。
⇒「IP 取得方法」P.3-2

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【IP アドレス】の順に選びます。

メモ DCP-390CN では【有線 LAN】は表示されません。

2 本製品の現在の IP アドレスが表示されます。変更する場合は、IP アドレスを入力し、OK を押します。

IP アドレスが登録されます。
操作パネルからの入力方法 P.2-3
例）192.168.001.003

メモ 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】、【IP アドレス】の順に押します。

2 本製品の現在の IP アドレスが表示されます。変更する場合は、IP アドレスを入力し、OK を押します。

IP アドレスが登録されます。

タッチパネルからの入力方法P.2-3

例）192.168.001.003



続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

サブネットマスク

本製品の現在のサブネットマスクを確認できます。RARP、BOOTP、DHCP または APIPA 機能を使用していない場合は、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【サブネット マスク】の順に選びます。


DCP-390CN では【有線 LAN】は表示されません。

2 本製品の現在のサブネットマスクが表示されます。変更する場合は、サブネットマスクを入力し、OK を押します。

サブネットマスクが登録されます。
操作パネルからの入力方法P.2-3
例）255.255.255.0


続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】、【サブネット マスク】の順に押します。

2 本製品の現在のサブネットマスクが表示されます。変更する場合は、サブネットマスクを入力し、OK を押します。

サブネットマスクが登録されます。
タッチパネルからの入力方法P.2-3
例）255.255.255.0


続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

ゲートウェイ

本製品の現在のゲートウェイ（ルーター）のアドレスを確認できます。RARP、BOOTP、DHCP または APIPA 機能を使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイ（ルーター）を使用しない場合は、お買い上げ時の設定（初期値）【000.000.000.000】にしておいてください。アドレスがわからない場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【ゲートウェイ】の順に選びます。



DCP-390CN では【有線 LAN】は表示されません。

2 本製品の現在のゲートウェイアドレスが表示されます。変更する場合は、ゲートウェイアドレスを入力し、OK を押します。

ゲートウェイアドレスが登録されます。
操作パネルからの入力方法P.2-3
例）192.168.001.001



続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】、【ゲートウェイ】の順に押します。

2 本製品の現在のゲートウェイアドレスが表示されます。変更する場合は、ゲートウェイアドレスを入力し、OK を押します。

ゲートウェイアドレスが登録されます。
タッチパネルからの入力方法P.2-3
例）192.168.001.001



続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

ノード名

ノード名をネットワークで使用するために登録します（WINS サーバーに登録されている NetBIOS 名になります）。お買い上げ時の設定（初期値）は【BRNxxxxxxxxxxxx】（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）です。ノード名を変更する場合は、15 文字以内で設定してください。

型番の先頭に「DCP」がついている機種の場合は、操作パネルから現在のノード名の確認はできますが、入力したり変更することはできません。ノード名を変更する場合は、BRAdmin Light をご利用ください。
Windows® の場合⇒「BRAdmin Light で設定を変更する」P.9-3
Macintosh の場合⇒「BRAdmin Light で設定を変更する」P.14-3

設定の変更は、リモートセットアップ（MFC モデルのみ）でも行うことができます。
Windows® の場合⇒「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.8-1
Macintosh の場合⇒「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.13-1

液晶ディスプレイモデルの場合



1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【ノード名】の順に選びます。

メモ DCP-390CN では【有線 LAN】は表示されません。



2 本製品の現在のノード名が表示されます。
（MFC モデルのみ）変更する場合は、ノード名を入力し、OK を押します。
ノード名が登録されます。
操作パネルからの入力方法P.2-3
例）BRNxxxxxxxxxxxx（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字です。）
最大 15 文字まで入力できます。



メモ 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。



3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【ノード名】を押します。

3 本製品の現在のノード名が表示されます。変更する場合は、ノード名を入力し、OK を押します。

ノード名が登録されます。

タッチパネルからの入力方法P.2-3

例）BRNxxxxxxxxxxxx（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字です。）

最大 15 文字まで入力できます。



続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

WINS 設定

WINS サーバーアドレスの取得方法を設定します。

Auto

DHCP サーバーから自動的にプライマリ、セカンダリの WINS サーバーアドレスを取得します。
「IP 取得方法」が【Auto】に設定されている必要があります。
⇒「IP 取得方法」P.3-2

Static

手動で WINS サーバーアドレスを設定します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【WINS 設定】の順に選びます。



DCP-390CN では【有線 LAN】は表示されません。

2 ▼ / ▲ で【Auto】、【Static】のどちらかを選び、OK を押します。

WINS 設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【WINS 設定】を押します。

3 【Auto】または【Static】を押します。

WINS 設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

WINS サーバ

WINS サーバーのアドレスを設定します。

●プライマリ WINS サーバー IP アドレス

この項目でプライマリ WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバーの IP アドレスを登録します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS サーバーにノード名を登録します。

●セカンダリ WINS サーバー IP アドレス

この項目でセカンダリ WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバーの IP アドレスを登録します。セカンダリ WINS サーバーはプライマリ WINS サーバーの機能の一部を補完し、プライマリサーバーが見つからないときに機能します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS サーバーにノード名を登録します。
ネットワーク内にセカンダリの WINS サーバーが存在しない場合は入力しなくても構いません。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【WINS サーバ】の順に選び、OK を押します。


DCP-390CN では【有線 LAN】は表示されません。

2 ▲/▼ で【プライマリ】または【セカンダリ】を選びます。

3 WINS サーバーのアドレスを入力し、OK を押します。

WINS サーバーのアドレスが登録されます。
操作パネルからの入力方法P.2-3
お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。


続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、クリア/バック を押したあと、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【WINS サーバ】を押します。

3 【プライマリ】または【セカンダリ】を押します。

4 WINS サーバーのアドレスを入力し、OK を押します。

WINS サーバーのアドレスが登録されます。

タッチパネルからの入力方法P.2-3
お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。



続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、 を押したあと、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

5 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

DNS サーバ

DNS（ドメインネームシステム）サーバーのアドレスを設定します。

プライマリ DNS サーバー IP アドレス

プライマリ DNS（ドメインネームシステム）サーバーのアドレスを指定します。

セカンダリ DNS サーバー IP アドレス

セカンダリ DNS サーバーのアドレスを指定します。セカンダリ DNS サーバーはプライマリ DNS サーバーの機能の一部を補完し、プライマリサーバーが見つからない場合に機能します。
ネットワークのトラフィックが大きい場合に設定してください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【DNS サーバ】の順に選び、OK を押します。



DCP-390CN では【有線 LAN】は表示されません。

2 ▲/▼ で【プライマリ】または【セカンダリ】を選びます。

3 DNS サーバーのアドレスを入力し、OK を押します。

DNS サーバーのアドレスが登録されます。
操作パネルからの入力方法P.2-3
お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。



続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、クリア/バック を押したあと、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1. 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2. ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【DNS サーバ】を押します。

3. 【プライマリ】または【セカンダリ】を押します。

4. DNS サーバーのアドレスを入力し、OK を押します。

   DNS サーバーのアドレスが登録されます。
   タッチパネルからの入力方法P.2-3
   お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。



続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、⮌ を押したあと、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

5. 停止/終了 を押します。

   設定メニューを終了します。

APIPA

IP アドレス自動配布サーバー（DHCP、BOOTP、RARP など）を利用していない場合でも、「APIPA」（AutoIP）を【オン】に設定しておくと、本製品に IP アドレスを自動的に割り当てます。このとき、IP アドレスは 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で割り当てられます。この機能を使用しないときは【オフ】に設定してください。
割り当てられた IP アドレスがお使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light や操作パネルから IP アドレスを変更してください。
⇒「IP アドレスの設定方法」P.16-2

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【TCP/IP】OK【APIPA】の順に選びます。



メモ DCP-390CN では【有線 LAN】は表示されません。

2 ◀/▶ で【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。

APIPA の設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【オン】です。



メモ 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【APIPA】を押します。

3 【オン】または【オフ】を押します。

APIPA の設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【オン】です。



続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

その他の設定

イーサネット

リンクモードを設定します。

Auto

100BaseTX（全二重／半二重）、10BaseT（全二重／半二重）モードを自動的に選びます。

100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD

それぞれのリンクモードに固定されます。
100B-FD：100BaseTX Full Duplex（全二重）
100B-HD：100BaseTX Half Duplex（半二重）
10B-FD：10BaseT Full Duplex（全二重）
10B-HD：10BaseT Half Duplex（半二重）

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【イーサネット】の順に選びます。



DCP-390CN では【有線 LAN】は表示されません。

2 ◀/▶ で【Auto】、【100B-FD】、【100B-HD】、【10B-FD】または【10B-HD】を選び、OK を押します。

イーサネットの設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】、【イーサネット】の順に押します。

2 【Auto】、【100B-FD】、【100B-HD】、【10B-FD】または【10B-HD】を押します。

イーサネットの設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

MAC アドレス

本製品の現在の MAC アドレスを確認できます。MAC アドレスは、本製品のネットワークインターフェースに割り当てられたアドレス番号です。MAC アドレスは変更できません。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【有線 LAN】OK【MAC アドレス】の順に選び、OK を押します。

本製品の MAC アドレスが確認できます。



DCP-390CN では【有線 LAN】は表示されません。

2 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【有線 LAN】の順に押して、【MAC アドレス】を表示させます。

本製品の MAC アドレスが確認できます。

2 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

第 4 章 無線 LAN の設定をする（無線 LAN 対応モデルのみ）

無線 LAN 対応モデルは、DCP-595CN、MFC-495CN/695CDN/695CDWN/935CDN/935CDWN/J950DN/J950DWN です。
本書では MFC-935CDN/935CDWN/J950DN/J950DWN をタッチパネルモデル、それ以外のモデルを液晶ディスプレイモデルと記載しています。

ネットワーク環境を確認する

はじめに無線 LAN で接続するネットワーク環境を確認します。
⇒「無線 LAN の場合」P.1-4

無線 LAN 設定の方法を選ぶ

本製品の無線 LAN 設定をする場合は、次の 4 つの方法があります。

設定方法	説明
無線接続ウィザード（推奨）	本製品の操作パネルから無線接続ウィザードを使用して設定します。 ⇒「かんたん設置ガイド ネットワーク編」
WPS/AOSS*1	無線 LAN アクセスポイントを簡単に設定できる WPS/AOSS™ の PBC（Push Button Configuration）を使用します。 ⇒「かんたん設置ガイド ネットワーク編」
WPS（PIN コード）	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントをお持ちの場合、PIN（Personal Identification Number：個人認証番号）コードを入力することで無線 LAN とセキュリティの設定を行うことができます。 ⇒「WPS（PIN コード）」P.4-54
CD-ROM のブラザーインストーラー	本製品に付属している CD-ROM 内のブラザーインストーラーを使用して設定します。 ⇒「LAN ケーブルで接続して手動で無線 LAN 設定をする（Windows®）」P.4-4 ⇒「LAN ケーブルで接続して手動で無線 LAN 設定をする（Macintosh）」P.4-13

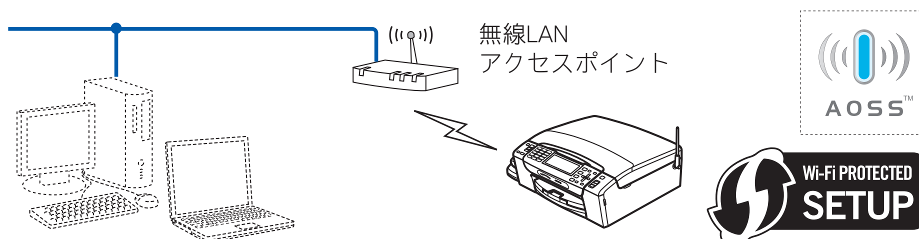
*1 WPS は Wi-Fi Protected Setup、AOSS™ は AirStation One-Touch Secure System の略です。

操作パネルから無線 LAN の設定を手動で行う

本製品の無線 LAN 設定をする場合は、操作パネルから無線接続ウィザードを使用することをお勧めします。無線接続ウィザードを使用すると、本製品を無線 LAN に簡単に接続することができます。インストールを始める前にお使いの無線 LAN 環境を確認してください。
⇒「かんたん設置ガイド ネットワーク編」

操作パネルと無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用する（WPS/AOSS™）

本製品を接続する無線 LAN アクセスポイントが WPS/AOSS™（PBC*1 方式）のどちらかに対応している場合は、操作パネルから無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用して、自動で本製品の無線 LAN 設定ができます。
⇒「かんたん設置ガイド ネットワーク編」



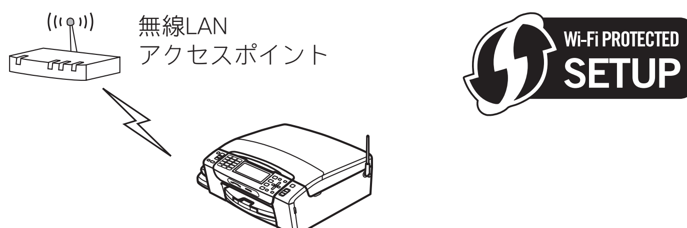
*1 Push Button Configuration

WPS の PIN 方式を使用する

本製品を接続する無線 LAN アクセスポイントが WPS に対応している場合は、WPS の PIN（Personal Identification Number：個人認証番号）方式を使用して本製品の無線 LAN 設定をすることもできます。
⇒「WPS（PIN コード）」P.4-54

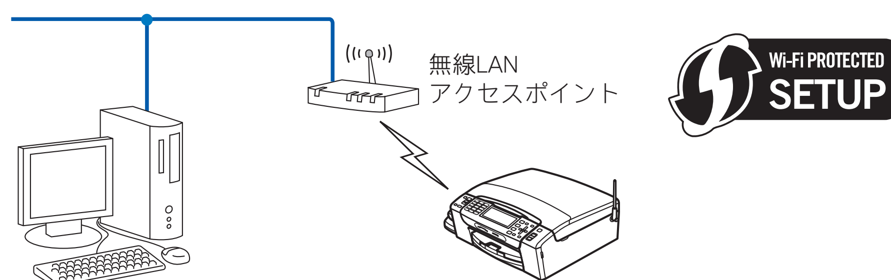
無線 LAN アクセスポイントをレジストラとして使用する場合の接続

無線 LAN アクセスポイントを無線 LAN のレジストラ（登録管理機器）として使用します。



パソコンからなど別の機器をレジストラとして使用する場合の接続

無線 LAN アクセスポイントに接続しているパソコンなどを無線 LAN のレジストラ（登録管理機器）として使用します。

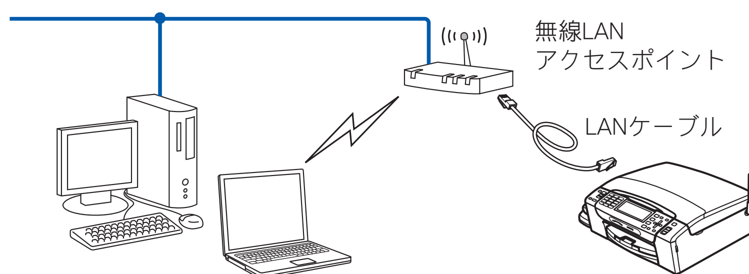


ブラザーインストーラーを使用する

付属の CD-ROM に収録されているブラザーインストーラーを使用して、本製品の無線 LAN 設定をすることもできます。このインストーラーを使用すると、画面の指示に従って操作することで本製品を無線 LAN に簡単に接続できます。インストールを始める前にお使いの無線 LAN 環境を確認してください。
無線 LAN の設定は、本製品の操作パネルからも設定できます（推奨）。
⇒「かんたん設置ガイド ネットワーク編」

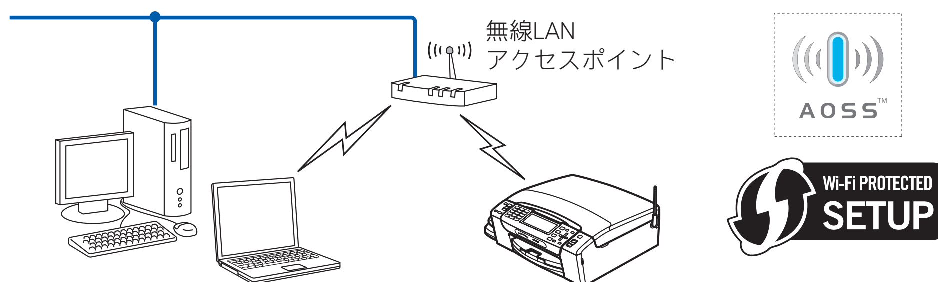
LAN ケーブルを使用して手動で無線 LAN 設定をする

無線 LAN アクセスポイントと本製品を一時的に LAN ケーブルを使用して接続し、本製品の無線 LAN 設定を行います。同じネットワーク上のパソコンから本製品を遠隔操作することができます。
⇒「LAN ケーブルで接続して手動で無線 LAN 設定をする（Windows®）」P.4-4
⇒「LAN ケーブルで接続して手動で無線 LAN 設定をする（Macintosh）」P.4-13



無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用する（WPS/AOSS™）

本製品に接続する無線 LAN アクセスポイントが、WPS/AOSS™（PBC*1 方式）のどちらかに対応している場合に、無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用して、本製品の無線 LAN 設定を行います。
⇒「無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用する （WPS/AOSS™）」P.4-21



*1 Push Button Configuration

LAN ケーブルで接続して手動で無線 LAN 設定をする（Windows®）



- 手動設定を行うには、お使いの無線 LAN アクセスポイント（ルーターなど）に設定されている情報が必要です。必ず、無線 LAN アクセスポイントの設定を確認してください。
- 無線 LAN アクセスポイントに設定されている情報は本製品からは調べることができません。お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。それでもわからない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。
- パーソナルファイアウォールをお使いの場合
  パソコンに、ファイアウォールなどの機能を持つソフトウェアがインストールされている場合は、いったん停止させるか UDP のポート 137 を有効に設定してから、ドライバーのインストールを行ってください。設定方法については、ソフトウェア提供元へご相談ください。
- Windows® のパーソナルファイアウォール機能について
  Windows® で、「インターネット接続ファイアウォール」が有効に設定されている場合は、次の手順で無効にしてから、ドライバーのインストールを行ってください。
  - Windows® XP SP1 の場合
    (1) コントロールパネルから、［ネットワーク接続］をクリックする
    (2) 使用しているネットワークアイコン（ローカルエリア接続など）を右クリックし、［プロパティ］をクリックする
    (3)［詳細設定］タブをクリックする
    (4)「インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制御したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する」のチェックをはずす
    (5) ドライバーのインストールが終わったら、ファイアウォールを有効に戻す
  - Windows® XP SP2 以降の場合
    (1) コントロールパネルから、［セキュリティセンター］をクリックする
    (2)［Windows ファイアウォール］をクリックする
    (3)［無効（推奨されません）］をクリックする
    (4) ドライバーのインストールが終わったら、ファイアウォールを有効に戻す
    ※ ファイアウォールを有効に戻すと、ソフトウェアの一部の機能が利用できなくなります。
    ⇒「セキュリティソフトウェアについて」P.15-6
  - Windows Vista® の場合
    (1) コントロールパネルから、［セキュリティ］をクリックする
    (2)［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックする
    (3)［無効（推奨されません）］をクリックする
    (4) ドライバーのインストールが終わったら、ファイアウォールを有効に戻す
    ※ ファイアウォールを有効に戻すと、ソフトウェアの一部の機能が利用できなくなります。
    ⇒「セキュリティソフトウェアについて」P.15-6
  - Windows® 7 の場合
    (1) コントロールパネルから、「システムとセキュリティ」をクリックする
    (2)「Windows ファイアウォール」をクリックする
    (3)「Windows ファイアウォールの有効化また無効化」をクリックする
    (4)「Windows ファイアウォールを無効にする（推奨されません）」をクリックする
    (5) ドライバーのインストールが終わったら、ファイアウォールを有効に戻す
    ※ ファイアウォールを有効に戻すと、ソフトウェアの一部の機能が利用できなくなります。
    ⇒「セキュリティソフトウェアについて」P.15-6

1 使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、SSID（ネットワーク名）とパスワード（ネットワークキー）を調べて控えておきます。これらは設定手順で必要な情報です。

SSID は、メーカーによっては ESSID、ESS-ID とも呼ばれています。オープンシステム認証でセキュリティなし（暗号化なし）の場合は、パスワードはありません。

SSID（ネットワーク名）	
パスワード（ネットワークキー） （セキュリティキー、暗号化キーなど）	



無線 LAN アクセスポイントに複数の WEP キー（WEP キー 1、WEP キー 2、WEP キー 3、WEP キー 4 など）を設定している場合は、WEP キー 1 を控えておきます。本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。

2 本製品の電源プラグをコンセントに差し込みます。

3 パソコンの電源を入れます。

4 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

モデルを選ぶ画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。



画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

5 「カスタムインストール」をクリックします。



6 「無線 LAN 設定ウィザード」をクリックします。



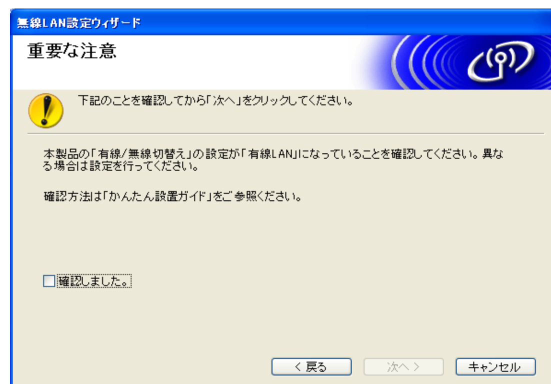
7 「手動設定インストール（推奨）」を選び、［次へ］をクリックします。



8 「LAN ケーブルを使用します（推奨）」を選び、［次へ］をクリックします。



9 右の画面が表示されたら、本製品の【有線 / 無線切替え】設定を確認します。



（液晶ディスプレイモデルの場合）

(1) メニュー を押し、▲/▼【ネットワーク】OK【有線 / 無線切替え】を選び、OK を押す。

(2)【有線 LAN】になっていることを確認して、停止/終了 を押す。

本製品が無線 LAN に設定されていた場合は、▲/▼ で【有線 LAN】を選び、OK を押します。

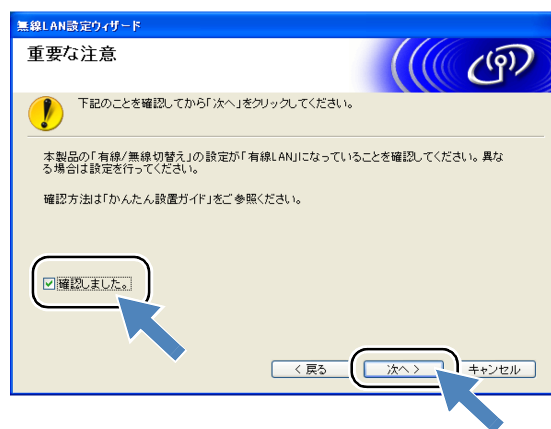
（タッチパネルモデルの場合）

(1)【メニュー】、【ネットワーク】の順に押して、【有線 / 無線切替え】を表示させる。

(2)【有線 LAN】になっていることを確認して、停止/終了 を押す。

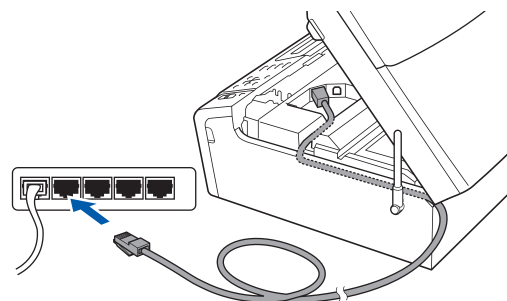
本製品が無線 LAN に設定されていた場合は、【有線 / 無線切り替え】、【有線 LAN】の順に押します。

10 「確認しました」をチェックして、［次へ］をクリックします。

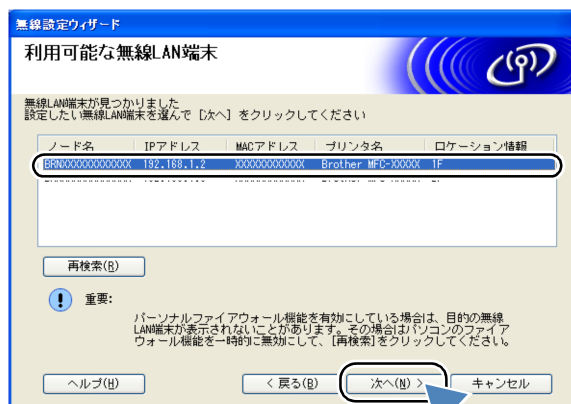


11 右の画面が表示されたら、本製品と無線 LAN アクセスポイントを LAN ケーブルで接続し、［次へ］をクリックします。





12 一覧から本製品を選び、［次へ］をクリックします。

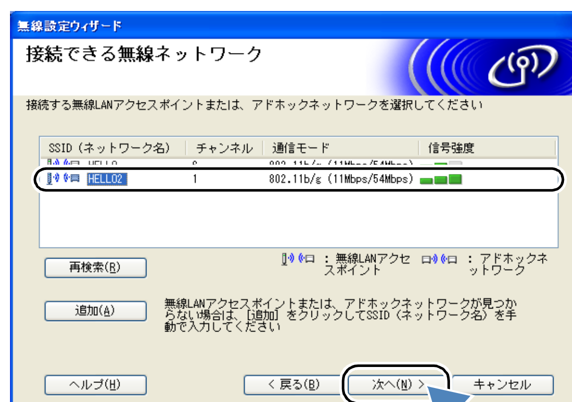


メモ

- お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は「BRNxxxxxxxxxxxx」、無線 LAN の場合は「BRWxxxxxxxxxxxx」です。
- 一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントおよび本製品の電源がオンになっていることを確認して、［再検索］をクリックしてください。
- ネットワーク設定リストを印刷すると、本製品の IP アドレスとノード名を確認できます。
  ⇒「ネットワーク設定リストの出力」P.2-7

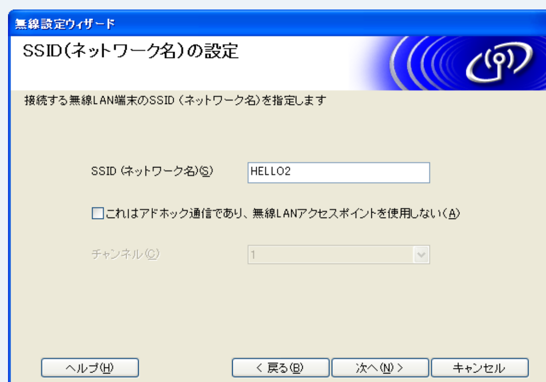
13 一覧から本製品を接続する無線 LAN アクセスポイント（1 で控えた SSID（ネットワーク名））を選び、［次へ］をクリックします。

本製品のお買い上げ時の SSID は「SETUP」です。この SSID は選択しないでください。



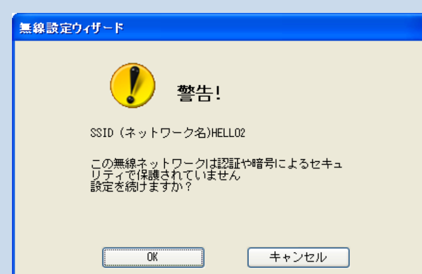
メモ

- 一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントの電源がオンになっていること、SSID が割り当てられていることを確認してください。さらに、本製品と無線 LAN アクセスポイントが無線通信の範囲内に設置されていることを確認し、［再検索］をクリックしてください。
- 無線 LAN アクセスポイントが SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）に設定されているときは、本製品から自動的に SSID を見つけることができません。その場合は［追加］をクリックして手動で SSID を追加してください。画面上の指示に従って「SSID（ネットワーク名）」を入力し、［次へ］をクリックします。





認証や暗号化によってセキュリティで保護されていない無線 LAN アクセスポイントを選択した場合は、右の画面が表示されます。セキュリティを設定しないで使用した場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入される恐れがあります。無線 LAN アクセスポイントのセキュリティを設定することをお勧めします。



セキュリティを設定するには、［キャンセル］をクリックして設定を中止します。無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定を行ったあとで、もう一度、設定し直してください。そのまま設定を続けるには［OK］をクリックして 15 へ進みます。

14 本製品が接続する無線 LAN アクセスポイントに設定している **1** で控えたパスワード（ネットワークキー）を入力して、［次へ］をクリックします。



- 入力したパスワードが無線 LAN アクセスポイントのパスワードと異なっていても、エラーは表示されません。
- パスワードは大文字や小文字も区別されます。正確に入力してください。

15 設定を確認し、［次へ］をクリックします。

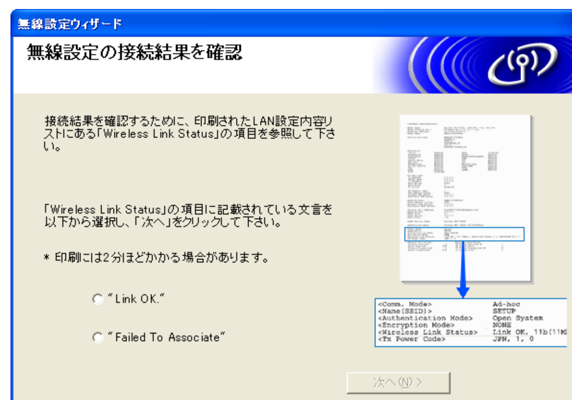
本製品に無線 LAN 設定の内容が送信され、「ネットワーク設定リスト」が印刷されます。［キャンセル］をクリックすると、設定は無効になります。



- 本製品の IP アドレスを変更する場合は、［IP アドレスの変更］をクリックして手動で設定してください。
- 本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されると【有線 / 無線切替え】が自動的に【無線 LAN】に切り替わります。

16 **印刷された「ネットワーク設定リスト」の「Wireless Link Status」の項目を確認します。どちらかを選択して［次へ］をクリックします。**

「Link OK」の場合は、18 へ進んでください。
「Failed To Associate」の場合は、17 へ進んでください。

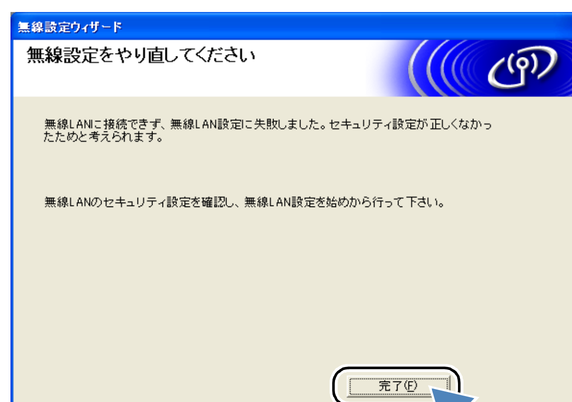



暗号化方式が「WEP」の場合は、「Link OK」と表示されていても本製品と接続できていないことがあります。すべての手順を完了してから、正しく接続できているか確認してください。

17 **無線 LAN に正しく接続できませんでした。［完了］をクリックします。**

本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻して、もう一度、設定をやり直してください。

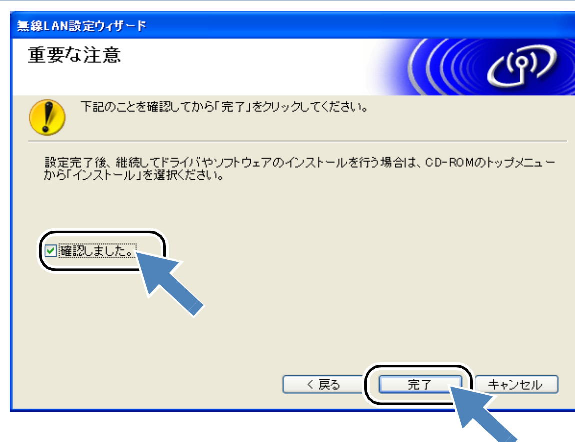
⇒「ネットワーク設定リセット」P.2-5



18 **無線 LAN アクセスポイントと本製品から LAN ケーブルをはずして、［次へ］をクリックします。**



19 「確認しました」をチェックして、［完了］をクリックします。



以上で、無線 LAN の設定は終了です。引き続き、プリンタードライバーやソフトウェアのインストールを行う場合は、本製品に付属の CD-ROM からインストールを進めてください。
⇒「かんたん設置ガイド ネットワーク編」



接続できなかったときは

暗号化方式が「WEP」の場合、16 で「Link OK」と表示されていても本製品と接続できないことがあります。14 で WEP キーを正しく入力しなかったことが考えられます。WEP キーは大文字、小文字が区別されます。正しく入力してください。本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻して、もう一度、設定をやり直してください。
⇒「ネットワーク設定リセット」P.2-5

LAN ケーブルで接続して手動で無線 LAN 設定をする（Macintosh）



- 手動設定を行うには、お使いの無線 LAN アクセスポイント（ルーターなど）に設定されている情報が必要です。必ず、無線 LAN アクセスポイントの設定を確認してください。
- 無線 LAN アクセスポイントに設定されている情報は本製品からは調べることができません。お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。それでもわからない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。
- パーソナルファイアウォールをお使いの場合
  パソコンに、ファイアウォールなどの機能を持つソフトウェアがインストールされている場合は、いったん停止させるか UDP のポート 137 を有効に設定してから、ドライバーのインストールを行ってください。設定方法については、ソフトウェア提供元へご相談ください。



使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、SSID（ネットワーク名）とパスワード（ネットワークキー）を調べて控えておきます。これらは設定手順で必要な情報です。

SSID は、メーカーによっては ESSID、ESS-ID とも呼ばれています。オープンシステム認証でセキュリティなし（暗号化なし）の場合は、パスワードはありません。

SSID（ネットワーク名）	
パスワード（ネットワークキー） （セキュリティキー、暗号化キーなど）	



無線 LAN アクセスポイントに複数の WEP キー（WEP キー 1、WEP キー 2、WEP キー 3、WEP キー 4 など）を設定している場合は、WEP キー 1 を控えておきます。本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。



本製品の電源プラグをコンセントに差し込みます。



Macintosh の電源を入れます。

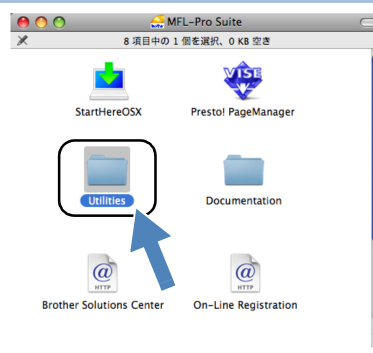


付属の CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブにセットします。

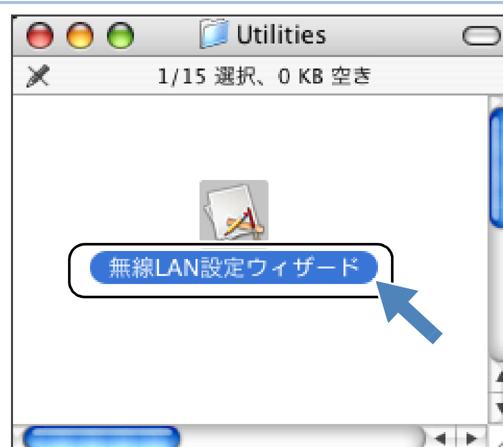


「MFL-Pro Suite」アイコンをダブルクリックします。

6 「Utilities」フォルダーをダブルクリックします。



7 「無線 LAN 設定ウィザード」をダブルクリックします。



8 「手動設定インストール（推奨）」を選び、［次へ］をクリックします。



9 「LAN ケーブルを使用します（推奨）」を選び、［次へ］をクリックします。



10 右の画面が表示されたら、本製品の【有線 / 無線切替え】設定を確認します。



（液晶ディスプレイモデルの場合）

(1) メニュー を押し、▲/▼【ネットワーク】OK【有線 / 無線切替え】を選び、OK を押す。

(2)【有線 LAN】になっていることを確認して、停止/終了 を押す。

本製品が無線 LAN に設定されていた場合は、▲/▼ で【有線 LAN】を選び、OK を押します。

（タッチパネルモデルの場合）

(1)【メニュー】、【ネットワーク】の順に押して、【有線 / 無線切替え】を表示させる。

(2)【有線 LAN】になっていることを確認して、停止/終了 を押す。

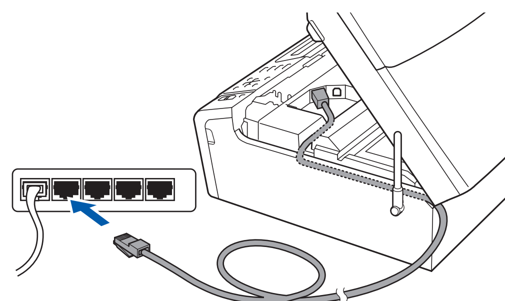
本製品が無線 LAN に設定されていた場合は、【有線 / 無線切り替え】、【有線 LAN】の順に押します。

11 「確認しました」をチェックして、［次へ］をクリックします。

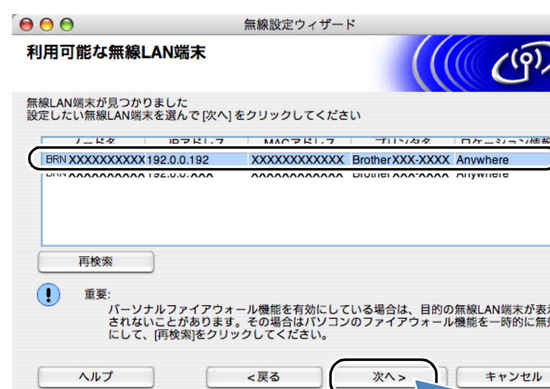


12 右の画面が表示されたら、本製品と無線 LAN アクセスポイントを LAN ケーブルで接続し、［次へ］をクリックします。





13 一覧から本製品を選び、［次へ］をクリックします。





- お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は「BRNxxxxxxxxxxxx」、無線 LAN の場合は「BRWxxxxxxxxxxxx」です。
- 一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントおよび本製品の電源がオンになっていることを確認して、［再検索］をクリックしてください。
- ネットワーク設定リストを印刷すると、本製品の IP アドレスとノード名を確認できます。
  ⇒「ネットワーク設定リストの出力」P.2-7

14 **一覧から本製品を接続する無線 LAN アクセスポイント（ 1 で控えた SSID（ネットワーク名））を選び、［次へ］をクリックします。**

本製品のお買い上げ時の SSID は「SETUP」です。この SSID は選択しないでください。





- 一覧が空白の場合は、無線 LAN アクセスポイントの電源がオンになっていること、SSID が割り当てられていることを確認してください。さらに、本製品と無線 LAN アクセスポイントが無線通信の範囲内に設置されていることを確認し、［再検索］をクリックしてください。
- 無線 LAN アクセスポイントが SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）に設定されているときは、本製品から自動的に SSID を見つけることができません。その場合は［追加］をクリックして手動で SSID を追加してください。画面上の指示に従って「SSID（ネットワーク名)」を入力し、［次へ］をクリックします。





認証や暗号化によってセキュリティで保護されていない無線 LAN アクセスポイントを選択した場合は、右の画面が表示されます。セキュリティを設定しないで使用した場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入される恐れがあります。無線 LAN アクセスポイントのセキュリティを設定することをお勧めします。



セキュリティを設定するには、［キャンセル］をクリックして設定を中止します。無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定を行ったあとで、もう一度、設定し直してください。そのまま設定を続けるには［OK］をクリックして 16 へ進みます。

15 本製品が接続する無線 LAN アクセスポイントに設定している 1 で控えたパスワード（ネットワークキー）を入力して、［次へ］をクリックします。

無線設定ウィザード
ネットワークキー設定
ネットワークキーを入力し、「次へ」をクリックして下さい。
SSID (ネットワーク名)
ネットワークキー ••••
ネットワークキー（確認用） ••••
無線ネットワークの認証方式、暗号化方式は自動的に検出されます。ネットワークキーのみを入力してください。
ヘルプ ＜戻る 次へ＞ キャンセル



- 入力したパスワードが無線 LAN アクセスポイントのパスワードと異なっていても、エラーは表示されません。
- パスワードは大文字と小文字も区別されます。正確に入力してください。

16 設定を確認し、［次へ］をクリックします。

本製品に無線 LAN 設定の内容が送信され、「ネットワーク設定リスト」が印刷されます。
［キャンセル］をクリックすると、設定は無効になります。

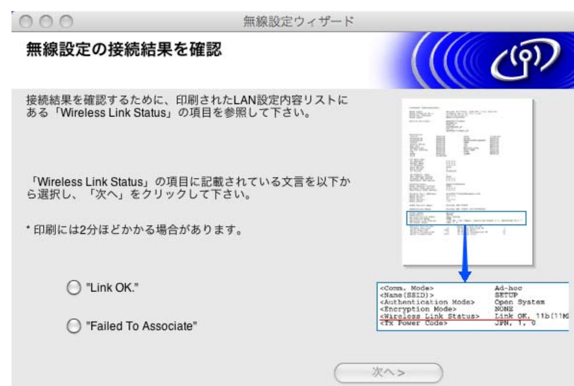
無線設定ウィザード
無線LAN設定データの送信
[次へ] をクリックすると無線LAN設定データを本製品に送信します
対象デバイス名（ノード名） BRN_XXXXXX
IPアドレス 自動 IPアドレスの変更
通信モード インフラストラクチャ
SSID (ネットワーク名) HELLO
「次へ」をクリックすると、LAN設定内容リストが自動的に印刷されます。接続結果を確認するため、印刷されたLAN設定内容リストを参照して下さい。
ヘルプ ＜戻る 次へ＞ キャンセル



- 本製品の IP アドレスを変更する場合は、［IP アドレスの変更］をクリックして手動で設定してください。
- 本製品に無線 LAN 設定の内容が送信されると【有線 / 無線切替え】が自動的に【無線 LAN】に切り替わります。

17 印刷された「ネットワーク設定リスト」の「Wireless Link Status」の項目を確認します。どちらかを選択して［次へ］をクリックします。

「Link OK」の場合は、**19** へ進んでください。
「Failed To Associate」の場合は、**18** へ進んでください。



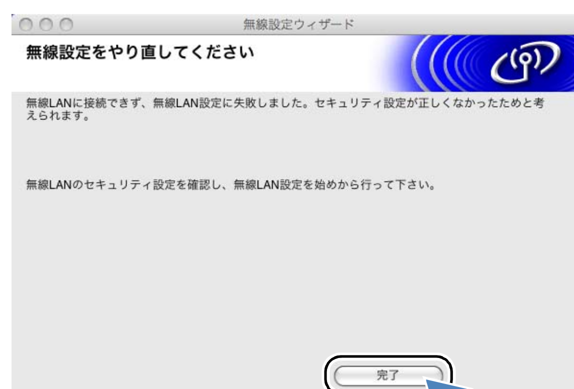


暗号化方式が「WEP」の場合は、「Link OK」と表示されていても本製品と接続できていないことがあります。すべての手順を完了してから、正しく接続できているか確認してください。

18 無線 LAN に正しく接続できませんでした。［完了］をクリックします。

本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻して、もう一度、設定をやり直してください。

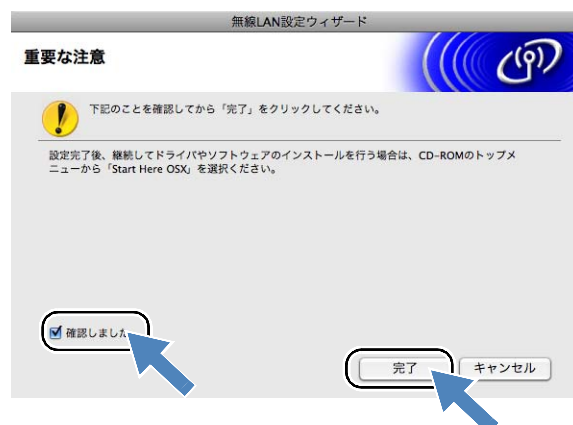
⇒「ネットワーク設定リセット」P.2-5



19 無線 LAN アクセスポイントと本製品から LAN ケーブルをはずして、［次へ］をクリックします。



20 「確認しました」をチェックして、［完了］をクリックします。



以上で、無線 LAN の設定は終了です。引き続き、プリンタードライバーやソフトウェアのインストールを行う場合は、本製品に付属の CD-ROM からインストールを進めてください。
⇒「かんたん設置ガイド ネットワーク編」



接続できなかったときは

暗号化方式が「WEP」の場合、**17** で「Link OK」と表示されていても本製品と接続できないことがあります。**15** で WEP キーを正しく入力しなかったことが考えられます。WEP キーは大文字、小文字が区別されます。正しく入力してください。本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻して、もう一度、設定をやり直してください。
⇒「ネットワーク設定リセット」P.2-5

無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用する (WPS/AOSS™)

WPS（Wi-Fi Protected Setup）または AOSS™（AirStation One-Touch Secure System：無線 LAN 簡単設定システム）対応の無線 LAN アクセスポイントをお持ちの場合は、アクセスポイントのボタンを押すだけで、本製品の無線 LAN 設定が行えます。
WPS または AOSS™ を使用するには、お使いのルーター、無線 LAN アクセスポイントが、WPS または AOSS™ に対応している必要があります。次のロゴがついているかご確認ください。詳しくは、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

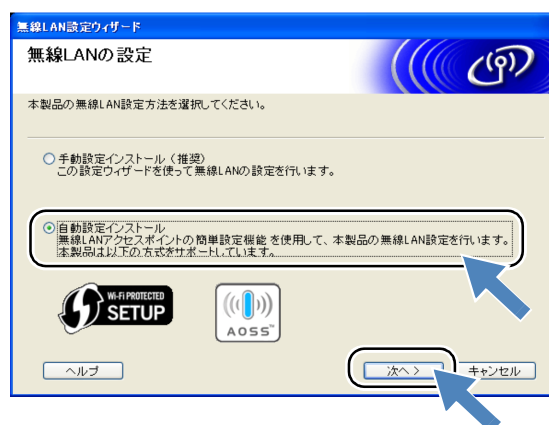




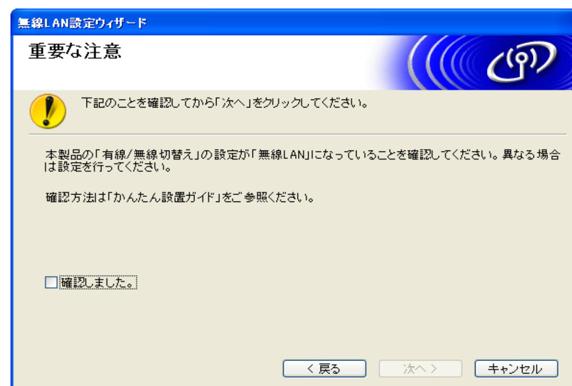
手順では、Windows® の画面を例に説明しています。

1 （Windows® の場合）
「LAN ケーブルで接続して手動で無線 LAN 設定をする（Windows®）」P.4-4 の 2 ～ 6 を行います。
（Macintosh の場合）
「LAN ケーブルで接続して手動で無線 LAN 設定をする（Macintosh）」P.4-13 の 2 ～ 7 を行います。

2 「自動設定インストール」を選び、［次へ］をクリックします。



3 右の画面が表示されたら、本製品の【有線 / 無線切替え】設定を確認します。



（液晶ディスプレイモデルの場合）

(1) メニュー を押し、▲/▼【ネットワーク】OK【有線 / 無線切替え】を選び、OK を押す。

(2)【無線 LAN】になっていることを確認して、停止/終了 を押す。

本製品が有線 LAN に設定されていた場合は、▲/▼ で【無線 LAN】を選び、OK を押します。【無線に切替えますか？】というメッセージが表示されたら、OK を押します。

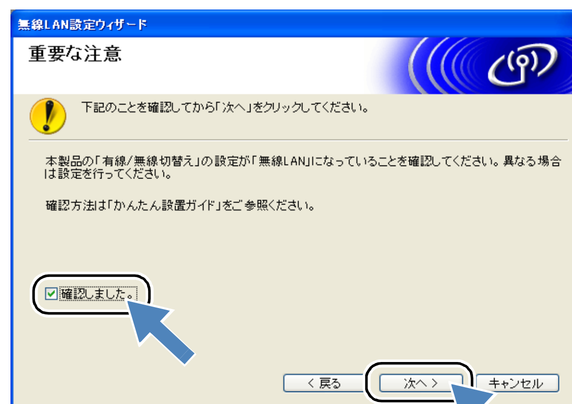
（タッチパネルモデルの場合）

(1)【メニュー】、【ネットワーク】の順に押して、【有線 / 無線切替え】を表示させる。

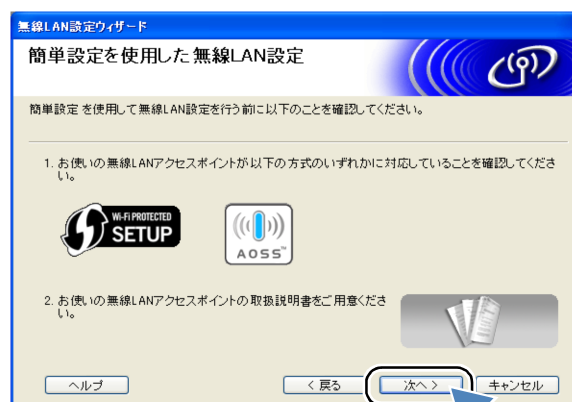
(2)【無線 LAN】になっていることを確認して、停止/終了 を押す。

本製品が有線 LAN に設定されていた場合は、【有線 / 無線切り替え】、【無線 LAN】の順に押します。【無線に切替えますか？】というメッセージが表示されたら、【はい】を押します。

4 「確認しました」をチェックして、[次へ] をクリックします。



5 内容を確認して、[次へ] をクリックします。



6

（液晶ディスプレイモデルの場合）

メニュー を押し、▲/▼【ネットワーク】OK【無線 LAN】OK【WPS/AOSS】を選び、OK を押します。

（タッチパネルモデルの場合）

【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【WPS/AOSS】の順に押します。

本製品が有線 LAN に設定されていた場合は、【無線に切替えますか？】というメッセージが表示されます。OK（液晶ディスプレイモデルの場合）または【はい】（タッチパネルモデルの場合）を押すと、無線 LAN に切り替わります。

WPS/AOSS™ 機能を使って、無線 LAN アクセスポイントの検索が開始されます。



検索中は最長で 2 分程度、操作ができなくなります。

7

無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンまたは AOSS™ ボタンを押します。

詳しくは、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
正常に接続されると本製品の画面に【接続しました】と表示されます。

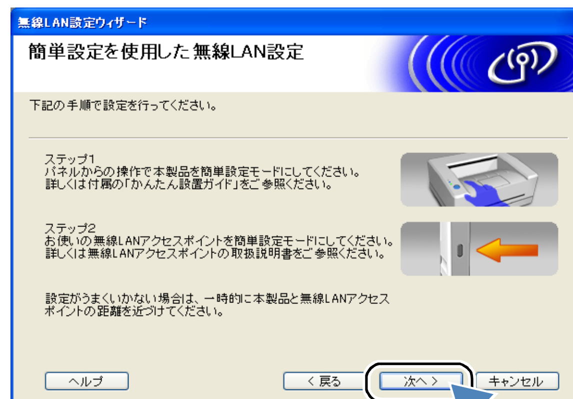


- WPS/AOSS™ 機能で接続中に本製品の画面に表示されるメッセージと状態をご確認ください。

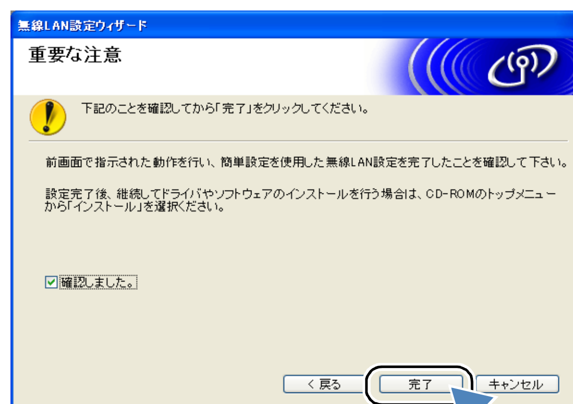
本製品のメッセージ表示と状態	
無線 LAN 設定中	無線 LAN アクセスポイントを検索して、設定をダウンロードしています。
WPS 接続中 AOSS 接続中	無線 LAN アクセスポイントに接続しています。
接続しました	無線 LAN の設定が正常に終了しました。
接続エラー	WPS/AOSS™ を実行している無線 LAN アクセスポイントが複数見つかりました。無線 LAN アクセスポイントを 1 つにして、もう一度、6 から設定をやり直してください。
アクセスポイントが見つかりません	無線 LAN アクセスポイントが見つかりませんでした。一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を 1m 程度に近づけてもう一度、6 から設定をやり直してください。
接続に失敗しました	無線 LAN アクセスポイントの接続に失敗しました。もう一度、設定をやり直してください。 それでも設定がうまくいかない場合は、ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻して、もう一度、設定をやり直してください。 ⇒「ネットワーク設定リセット」P.2-5

- 設定がうまくいかない場合は、⇒「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」P.15-2 をご覧ください。

8 正常に接続されたら、［次へ］をクリックします。



9 「確認しました」をチェックして［完了］をクリックします。



以上で、無線 LAN の設定は終了です。引き続き、プリンタードライバーやソフトウェアのインストールを行う場合は、本製品に付属の CD-ROM からインストールを進めてください。

⇒「かんたん設置ガイド ネットワーク編」

TCP/IP の設定

TCP/IP を使用して印刷するには、本製品に IP アドレスを設定します。
コンピューターと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルーターの先に本製品が接続されている場合は、ルーターのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。



DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、TCP/IP の各項目は自動的に設定されます。
それらの機能を使用しないで手動で IP アドレスを設定する場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように「IP 取得方法」を【Static】に設定してください。
⇒「IP 取得方法」P.4-26

このメニューは次の項目で構成されています。

- **IP 取得方法**
- **IP アドレス**
- **サブネットマスク**
- **ゲートウェイ**
- **ノード名**
- **WINS 設定**
- **WINS サーバ**
- **DNS サーバ**
- **APIPA**



TCP/IP を設定する他の方法

- BRAdmin Light を使用する
  Windows® の場合⇒「ネットワークインターフェースを設定する」P.9-1
  Macintosh の場合⇒「ネットワークインターフェースを設定する」P.14-1
- その他の設定方法⇒「IP アドレスの設定方法」P.16-2



設定の変更は、リモートセットアップ（MFC モデルのみ）でも行うことができます。
Windows® の場合⇒「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.8-1
Macintosh の場合⇒「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.13-1

IP 取得方法

IP アドレスの取得方法を設定します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【IP 取得方法】の順に選びます。

2 ◀/▶ で【Auto】、【Static】、【RARP】、【BOOTP】または【DHCP】を選び、OK を押します。

IP アドレス取得方法が設定されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】、【IP 取得方法】の順に押します。

2 【Auto】、【Static】、【RARP】、【BOOTP】または【DHCP】を押します。

IP アドレス取得方法が設定されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

IP アドレス

本製品の現在の IP アドレスを確認できます。「IP 取得方法」で【Static】以外の取得方法が選ばれている場合は、RARP、BOOTP または DHCP のプロトコルを使用して IP アドレスを自動的に取得します。
IP アドレスを変更すると、「IP 取得方法」は自動的に【Static】に変わります。
⇒「IP 取得方法」P.4-26

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【IP アドレス】の順に選びます。

2 本製品の現在の IP アドレスが表示されます。変更する場合は、IP アドレスを入力し、OK を押します。

IP アドレスが登録されます。
操作パネルからの入力方法P.2-3
例）192.168.001.003

メモ 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】、【IP アドレス】の順に押します。

2 本製品の現在の IP アドレスが表示されます。変更する場合は、IP アドレスを入力し、OK を押します。

IP アドレスが登録されます。
タッチパネルからの入力方法P.2-3
例）192.168.001.003

メモ 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

サブネットマスク

本製品の現在のサブネットマスクを確認できます。RARP、BOOTP、DHCP または APIPA 機能を使用していない場合は、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【サブネット マスク】の順に選びます。

2 本製品の現在のサブネットマスクが表示されます。変更する場合は、サブネットマスクを入力し、OK を押します。

サブネットマスクが登録されます。
操作パネルからの入力方法P.2-3
例）255.255.255.0

メモ 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】、【サブネット マスク】の順に押します。

2 本製品の現在のサブネットマスクが表示されます。変更する場合は、サブネットマスクを入力し、OK を押します。

サブネットマスクが登録されます。
タッチパネルからの入力方法P.2-3
例）255.255.255.0

メモ 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

ゲートウェイ

本製品の現在のゲートウェイ（ルーター）のアドレスを確認できます。RARP、BOOTP、DHCP または APIPA 機能を使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイ（ルーター）を使用しない場合は、お買い上げ時の設定（初期値）【000.000.000.000】にしておいてください。アドレスがわからない場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【ゲートウェイ】の順に選びます。

2 本製品の現在のゲートウェイアドレスが表示されます。変更する場合は、ゲートウェイアドレスを入力し、OK を押します。

ゲートウェイアドレスが登録されます。

操作パネルからの入力方法P.2-3

例）192.168.001.001

メモ 続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】、【ゲートウェイ】の順に押します。

2 本製品の現在のゲートウェイアドレスが表示されます。変更する場合は、ゲートウェイアドレスを入力し、OK を押します。

ゲートウェイアドレスが登録されます。
タッチパネルからの入力方法P.2-3
例）192.168.001.001



メモ
続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

ノード名

ノード名をネットワークで使用するために登録します（WINS サーバーに登録されている NetBIOS 名になります）。お買い上げ時の設定（初期値）は、【BRWxxxxxxxxxxxx】（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）です。ノード名を変更する場合は、15 文字以内で設定してください。



型番の先頭に「DCP」がついている機種の場合は、操作パネルから現在のノード名の確認はできますが、入力したり変更することはできません。ノード名を変更する場合は、BRAdmin Light をご利用ください。
Windows® の場合⇒「BRAdmin Light で設定を変更する」P.9-3
Macintosh の場合⇒「BRAdmin Light で設定を変更する」P.14-3



設定の変更は、リモートセットアップ（MFC モデルのみ）でも行うことができます。
Windows® の場合⇒「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.8-1
Macintosh の場合⇒「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」P.13-1

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【ノード名】の順に選びます。

2 本製品の現在のノード名が表示されます。
（MFC モデルのみ）変更する場合は、ノード名を入力し、OK を押します。
ノード名が登録されます。
操作パネルからの入力方法P.2-3
例）BRWxxxxxxxxxxxx（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字です。）
最大 15 文字まで入力できます。



続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【ノード名】を押します。

3 本製品の現在のノード名が表示されます。変更する場合は、ノード名を入力し、OK を押します。

ノード名が登録されます。

タッチパネルからの入力方法P.2-3

例）BRWxxxxxxxxxxxx（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字です。）

最大 15 文字まで入力できます。



続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

WINS 設定

WINS サーバーアドレスの取得方法を設定します。

Auto

DHCP サーバーから自動的にプライマリ、セカンダリの WINS サーバーアドレスを取得します。
「IP 取得方法」が【Auto】に設定されている必要があります。
⇒「IP 取得方法」P.4-26

Static

手動で WINS サーバーアドレスを設定します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【WINS 設定】の順に選びます。

2 ◀/▶ で【Auto】、【Static】のどちらかを選び、OK を押します。
WINS 設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。

3 停止/終了 を押します。
設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【WINS 設定】を押します。

3 【Auto】または【Static】を押します。
WINS 設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【Auto】です。

4 停止/終了 を押します。
設定メニューを終了します。

WINS サーバ

WINS サーバーのアドレスを設定します。

プライマリ WINS サーバー IP アドレス

この項目でプライマリ WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバーの IP アドレスを登録します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS サーバーにノード名を登録します。

セカンダリ WINS サーバー IP アドレス

この項目でセカンダリ WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバーの IP アドレスを登録します。セカンダリ WINS サーバーはプライマリ WINS サーバーの機能の一部を補完し、プライマリサーバーが見つからないときに機能します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS サーバーにノード名を登録します。
ネットワーク内にセカンダリの WINS サーバーが存在しない場合は入力しなくても構いません。

液晶ディスプレイモデルの場合

1. メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【WINS サーバ】の順に選び、OK を押します。

2. ▲/▼ で【プライマリ】または【セカンダリ】を選びます。

3. WINS サーバーのアドレスを入力し、OK を押します。

   WINS サーバーのアドレスが登録されます。
   操作パネルからの入力方法P.2-3
   お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。

   
   続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、クリア/バック を押したあと、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

4. 停止/終了 を押します。

   設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【WINS サーバ】を押します。

3 【プライマリ】または【セカンダリ】を押します。

4 WINS サーバーのアドレスを入力し、OK を押します。

WINS サーバーのアドレスが登録されます。

タッチパネルからの入力方法 P.2-3

お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。



続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、 を押したあと、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

5 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

DNS サーバ

DNS（ドメインネームシステム）サーバーのアドレスを設定します。

プライマリ DNS サーバー IP アドレス

プライマリ DNS（ドメインネームシステム）サーバーのアドレスを指定します。

セカンダリ DNS サーバー IP アドレス

セカンダリ DNS サーバーのアドレスを指定します。セカンダリ DNS サーバーはプライマリ DNS サーバーの機能の一部を補完し、プライマリサーバーが見つからない場合に機能します。
ネットワークのトラフィックが大きい場合に設定してください。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、/ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【DNS サーバ】の順に選びます。

2 / で【プライマリ】または【セカンダリ】を選びます。

3 DNS サーバーのアドレスを入力し、OK を押します。

DNS サーバーのアドレスが登録されます。
操作パネルからの入力方法P.2-3
お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。



続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、クリア/バック を押したあと、/ で設定したい項目に移動できます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【DNS サーバ】を押します。

3 【プライマリ】または【セカンダリ】を押します。

4 DNS サーバーのアドレスを入力し、OK を押します。

DNS サーバーのアドレスが登録されます。
タッチパネルからの入力方法P.2-3
お買い上げ時の設定（初期値）は、【000.000.000.000】です。



続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、⮌ を押したあと、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

5 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

APIPA

IP アドレス自動配布サーバー（DHCP、BOOTP、RARP など）を利用していない場合でも、「APIPA」（AutoIP）を【オン】に設定しておくと、本製品に IP アドレスを自動的に割り当てます。このとき、IP アドレスは 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で割り当てられます。この機能を使用しないときは【オフ】に設定してください。
割り当てられた IP アドレスがお使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light や操作パネルから IP アドレスを変更してください。
⇒「IP アドレスの設定方法」P.16-2

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【TCP/IP】OK【APIPA】の順に選びます。

2 ◀/▶ で【オン】または【オフ】を選び、OK を押します。

APIPA の設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【オン】です。



続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、▲/▼ で設定したい項目に移動できます。

3 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【TCP/IP】の順に押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【APIPA】を押します。

3 【オン】または【オフ】を押します。

APIPA の設定が登録されます。
お買い上げ時の設定（初期値）は、【オン】です。



続けて【TCP/IP】の他の項目を設定する場合は、設定したい項目を押します。目的の項目が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

4 停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

無線 LAN 設定

無線ネットワークについて

チャンネル

無線ネットワークではチャンネルを使用します。IEEE802.11b では 14 チャンネル、IEEE802.11g では 13 チャンネルまで使用できますが、近隣で無線 LAN アクセスポイントが使用されている場合、電波干渉を生じさせないために使用するチャンネル番号を 5 チャンネル離して設定するのが理想的です。

SSID

それぞれの無線ネットワークでは独自の SSID を持っています。SSID は無線 LAN アクセスポイントまたはアドホック通信のネットワーク機器に割り当てられていますので、接続する予定のネットワークの無線 LAN アクセスポイントまたはアドホック通信のネットワーク機器と同じ SSID に設定してください。

認証方式と暗号化方式について

有線ネットワークとは異なり、通信範囲が物理的に限られていない無線ネットワーク環境下では、セキュリティに関する設定を行い、傍受や不正アクセスを未然に防ぐ必要があります。セキュリティに関する設定には、認証方式（ネットワークにアクセスをしようとしている機器にアクセス権があるかどうかを判断する方法）と暗号化方式（データを暗号化することにより第三者による傍受を防ぐ方法）の設定があります。
本製品を無線ネットワークに確実に接続するためには、これらの設定を正しく行う必要があります。
ここでは、本製品がサポートする認証方式および暗号化方式を紹介します。

●認証方式

本製品がサポートする認証方式は次のとおりです。
- **オープンシステム認証：認証を行わず、すべてのアクセスを許可します。**
- **共有キー認証（インフラストラクチャ通信のみ）：あらかじめパスワードを設定しておいて、同じパスワードを使用している機器にのみアクセスを許可します。**
- **WPA-PSK/WPA2-PSK：定期的に変更されるパスワードを使用して認証を行います。高いセキュリティを実現できます。WRA-PSK/WPA2-PSK による認証を使用する場合には、接続する相手の機器も WPA-PSK/WPA2-PSK に対応している必要があります。**

●暗号化方式

本製品は暗号化方式として WEP、TKIP および AES をサポートしています。
- **なし：暗号化を行いません。**
- **WEP：WEP（Wired Equivalent Privacy）の機能を用いてデータを暗号化し送受信を行います。**
- **TKIP：定期的に暗号化キーが変更される暗号化方式です。高いセキュリティを実現できます。**
- **AES：AES（Advanced Encryption Standard）は Wi-Fi Alliance® が認定する、より強力な暗号化方式です。**

暗号化キー（パスワード）

本製品で使用する暗号化方式において、設定する暗号化キーは次のとおりです。

● WEP 暗号化方式

- **64（40）bit ASCII 文字：半角 5 文字で入力します。**
  例）"Hello"（大文字と小文字は区別されます）
- **64（40）bit 16 進数：10 桁の 16 進数で半角入力します。**
  例）"71f2234aba"
- **128（104）bit ASCII 文字：半角 13 文字で入力します。**
  例）"Wirelesscomms"（大文字と小文字は区別されます）
- **128（104）bit 16 進数：26 桁の 16 進数で半角入力します。**
  例）"71f2234ab56cd709e5412aa3ba"

● TKIP/AES 暗号化方式

PSK（事前共有キー）を ASCII 文字／半角 8 ～ 63 文字以内で入力します。
TKIP や AES の暗号化キーは、PSK（事前共有キー）などを元に生成され、定期的に更新されます。



本書では、無線 LAN に関する用語は、社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）発行の「無線 LAN のセキュリティに関するガイドライン（改訂版）」で推奨されている統一用語を使用しています。

主な推奨用語	各メーカーで使用されている用語
SSID	ネットワーク名、ESS-ID、ESSID
SSID の隠ぺい	SSID ステルスモード、SSID 非通知
アドホック通信	ピアツーピア通信、無線 LAN パソコン通信
インフラストラクチャ通信	アクセスポイント通信、アクセスポイント経由通信
キーインデックス	WEP キー番号、キー番号
共有キー認証	シェアードキー認証
無線 LAN	ワイヤレス LAN
無線 LAN アクセスポイント	無線 LAN ルーター、ワイヤレス・ブロードバンドルーター
無線 LAN 端末	無線 LAN 子機、ワイヤレスステーション

無線接続ウィザード

ウィザード形式で、無線 LAN 設定が簡単にできます。



- 無線接続ウィザードで設定を行うには、お使いの無線 LAN アクセスポイント（ルーターなど）に設定されている情報が必要です。必ず、無線 LAN アクセスポイントの設定を確認してください。
- 無線 LAN アクセスポイントに設定されている情報は本製品からは調べることができません。お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。それでもわからない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。

液晶ディスプレイモデルの場合



使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、SSID（ネットワーク名）とパスワード（ネットワークキー）を調べて控えておきます。これらは設定手順で必要な情報です。

SSID は、メーカーによっては ESSID、ESS-ID とも呼ばれています。オープンシステム認証でセキュリティなし（暗号化なし）の場合は、パスワードはありません。

SSID（ネットワーク名）	
パスワード（ネットワークキー） （セキュリティキー、暗号化キーなど）	

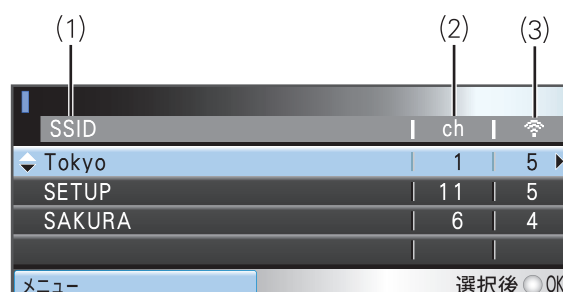


無線 LAN アクセスポイントに複数の WEP キー（WEP キー 1、WEP キー 2、WEP キー 3、WEP キー 4 など）を設定している場合は、WEP キー 1 を控えておきます。本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。



を押し、/で【ネットワーク】を選び、【無線 LAN】【無線接続ウィザード】の順に選び、を押します。

本製品が有線 LAN に設定されていた場合、「無線に切替えますか？」というメッセージが表示されます。を押すと、接続できる SSID を検索します。検索が終わると、SSID の一覧が表示されます。



(1)SSID：SSID が表示されます（最大 32 桁のうち表示されるのは 18 桁までです）。
(2) チャンネル：使用しているチャンネルが 1 ～ 14 で表示されます。
(3) 電波強度：電波の強さが 0 ～ 9 の 10 段階で表示されます。

3 ▲/▼ で 1 で控えた無線 LAN アクセスポイントの SSID（ネットワーク名）を選び、OK を押します。

セキュリティが設定されていない場合は、5 へ進みます。

セキュリティが設定されている場合は、パスワード（ネットワークキー）を入力して OK を押します。
操作パネルからの入力方法 P.2-3



- SSID が表示されない場合は、無線 LAN アクセスポイントの電源が入っていることを確認してください。本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を近づけて、もう一度、設定をやり直してください。
- 無線 LAN アクセスポイントが SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）に設定されている場合は、接続先の SSID は表示されません。SSID を入力して設定を行うこともできます。⇒「SSID が隠ぺいされている場合」P.4-43

4【設定を適用しますか？】と表示されたら、1あ（MFC-XXXX の場合）または 枚数 + （DCP-XXXX の場合）を押します。

5 本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続されます。

正常に接続されると、本製品の画面に【接続しました】と表示されます。



- お使いの環境によっては、接続に数分かかることがあります。
- 【パスワードが違います】と表示された場合は、停止/終了 を押してください。入力したパスワードが間違っています。1 の情報を確認して 2 から設定し直してください。
- 【接続に失敗しました】と表示された場合は、停止/終了 を押してください。無線 LAN アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を 1m 程度に近づけて、もう一度、2 から設定し直してください。
- それでも接続できない場合は、⇒「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」P.15-2 をご覧ください。

6 OK を押します。

SSID が隠ぺいされている場合



アドホック通信は、本製品とパソコンとの 1 対 1 通信となるため、無線アクセスポイントとパソコンが既に接続されている場合は、その設定が失われます。アドホック通信の設定を行う前に、必ず、現在のパソコンの無線設定を書き留めておくようにしてください。また、アドホック通信を行う場合は、あらかじめパソコンで SSID を設定しておく必要があります。

1 使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、SSID（ネットワーク名）を調べて控えておきます。これは設定手順で必要な情報です。

SSID は、メーカーによっては ESSID、ESS-ID とも呼ばれています。

SSID（ネットワーク名）	

2 **使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、認証方式、暗号化方式、パスワード（ネットワークキー）を調べて控えておきます。これらは設定手順で必要な情報です。**

(1) オープンシステム認証の場合

暗号化の有無とパスワード（WEP キー）を調べます。

認証方式	オープンシステム認証
暗号化方式	なし

または

認証方式	オープンシステム認証
暗号化方式	WEP
WEP キー	

(2) 共有キー認証の場合

パスワード（WEP キー）を調べます。

認証方式	共有キー認証
暗号化方式	WEP
WEP キー	

(3)WPA-PSK の場合

パスワード（事前共有キー）を調べます。

認証方式	WPA-PSK
暗号化方式	TKIP
事前共有キー	

(4)WPA2-PSK の場合

パスワード（事前共有キー）を調べます。

認証方式	WPA2-PSK
暗号化方式	AES
事前共有キー	



- パスワード（ネットワークキー）は大文字、小文字が区別されます。正確に確認してください。
- 無線 LAN アクセスポイントに複数の WEP キー（WEP キー 1、WEP キー 2、WEP キー 3、WEP キー 4 など）を設定している場合は、WEP キー 1 を控えておきます。本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。
- WEP キーは 5/10/13/26 文字のいずれかです。

3 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【無線接続ウィザード】の順に選び、OK を押します。

本製品が有線 LAN に設定されていた場合、「無線に切替えますか？」というメッセージが表示されます。OK を押すと、接続できる SSID を検索します。検索が終わると、SSID の一覧が表示されます。

SSID	ch	(電波強度)
Tokyo	1	5
SETUP	11	5
SAKURA	6	4
<New SSID>		

メニュー　選択後 OK

(1)SSID：SSID が表示されます（最大 32 桁のうち表示されるのは 18 桁までです）。
(2) チャンネル：使用しているチャンネルが 1 ～ 14 で表示されます。
(3) 電波強度：電波の強さが 0 ～ 9 の 10 段階で表示されます。

4 ▲/▼ で【<New SSID>】を選び、OK を押します。

5 1 で控えた無線 LAN アクセスポイントの SSID（ネットワーク名）を入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法 P.2-3

6 ▲/▼ で【インフラストラクチャ】を選び、OK を押します



アドホック通信を使用する場合は【アドホック】を選びます。画面の指示に従って、設定を進めてください。

7 ▲/▼ で 2 で控えた認証方式を選び、OK を押します。

【オープンシステム認証】を選んだ場合は、8 へ進みます。
【共有キー認証】を選んだ場合は、9 へ進みます。
【WPA/WPA2-PSK】を選んだ場合は、10 へ進みます。

8 ▲/▼ で 2 で控えた暗号化方式を選び、OK を押します。

【WEP】を選んだ場合は、9 へ進みます。
【なし】を選んだ場合は、12 へ進みます。

9 2 で控えた WEP キーを入力して、OK を押し、12 へ進みます。

操作パネルからの入力方法 P.2-3

10 / で 2 で控えた暗号化方式を選び、OK を押します。

WPA-PSK の場合は【TKIP】、WPA2-PSK の場合は【AES】を選びます。

11 2 で控えた事前共有キーを入力し、OK を押します。

操作パネルからの入力方法P.2-3

12 【設定を適用しますか？】と表示されたら、1 (MFC-XXXX の場合) または 枚数 (DCP-XXXX の場合) を押します。

本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続されます。
正常に接続されると、本製品の画面に【接続しました】と表示されます。



- お使いの環境によっては、接続に数分かかることがあります。
- 【パスワードが違います】と表示された場合は、停止/終了 を押してください。入力したパスワードが間違っています。2 の情報を確認して 3 から設定し直してください。
- 【接続に失敗しました】と表示された場合は、停止/終了 を押してください。無線 LAN アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を 1m 程度に近づけて、もう一度、3 から設定し直してください。
- それでも接続できない場合は、⇒「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」P.15-2 をご覧ください。

13 OK を押します。

タッチパネルモデルの場合

1 **使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、SSID（ネットワーク名）とパスワード（ネットワークキー）を調べて控えておきます。これらは設定手順で必要な情報です。**

SSID は、メーカーによっては ESSID、ESS-ID とも呼ばれています。オープンシステム認証でセキュリティなし（暗号化なし）の場合は、パスワードはありません。

SSID（ネットワーク名）	
パスワード（ネットワークキー） （セキュリティキー、暗号化キーなど）	



無線 LAN アクセスポイントに複数の WEP キー（WEP キー 1、WEP キー 2、WEP キー 3、WEP キー 4 など）を設定している場合は、WEP キー 1 を控えておきます。本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。

2 **【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【無線接続ウィザード】の順に押します。**

本製品が有線 LAN に設定されていた場合、「無線に切替えますか？」というメッセージが表示されます。【はい】を押すと、接続できる SSID を検索します。検索が終わると、SSID の一覧が表示されます。



(1)SSID：SSID が表示されます（最大 32 桁のうち表示されるのは 18 桁までです）。
(2) チャンネル：使用しているチャンネルが 1 ～ 14 で表示されます。
(3) 電波強度：電波の強さが 0 ～ 9 の 10 段階で表示されます。

3 **1 で控えた無線 LAN アクセスポイントの SSID（ネットワーク名）を選びます。**

目的の SSID が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。
セキュリティが設定されていない場合は、5 へ進みます。
セキュリティが設定されている場合は、パスワード（ネットワークキー）を入力して OK を押します。
タッチパネルからの入力方法P.2-3



- SSID が表示されない場合は、無線 LAN アクセスポイントの電源が入っていることを確認してください。本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を近づけて、もう一度、設定をやり直してください。
- 無線 LAN アクセスポイントが SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）に設定されている場合は、接続先の SSID は表示されません。SSID を入力して設定を行うこともできます。
⇒「SSID が隠ぺいされている場合」P.4-48

4 【設定を適用しますか？】と表示されたら、【はい】を押します。

5 本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続されます。

正常に接続されると、画面に【接続しました】と表示されます。



- お使いの環境によっては、接続に数分かかることがあります。
- 【パスワードが違います】と表示された場合は、停止/終了 を押してください。入力したパスワードが間違っています。1 の情報を確認して 2 から設定し直してください。
- 【接続に失敗しました】と表示された場合は、停止/終了 を押してください。無線 LAN アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を 1m 程度に近づけて、もう一度、2 から設定し直してください。
- それでも接続できない場合は、⇒「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」P.15-2 をご覧ください。

6 ✕ を押します。

SSID が隠ぺいされている場合



アドホック通信は、本製品とパソコンとの 1 対 1 通信となるため、無線アクセスポイントとパソコンが既に接続されている場合は、その設定が失われます。アドホック通信の設定を行う前に、必ず、現在のパソコンの無線設定を書き留めておくようにしてください。また、アドホック通信を行う場合は、あらかじめパソコンで SSID を設定しておく必要があります。

1 使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、SSID（ネットワーク名）を調べて控えておきます。これは設定手順で必要な情報です。

SSID は、メーカーによっては ESSID、ESS-ID とも呼ばれています。

SSID（ネットワーク名）	

2 使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、認証方式、暗号化方式、パスワード（ネットワークキー）を調べて控えておきます。これらは設定手順で必要な情報です。

(1) オープンシステム認証の場合

暗号化の有無とパスワード（WEP キー）を調べます。

認証方式	オープンシステム認証
暗号化方式	なし

または

認証方式	オープンシステム認証
暗号化方式	WEP
WEP キー	

(2) 共有キー認証の場合

パスワード（WEP キー）を調べます。

認証方式	共有キー認証
暗号化方式	WEP
WEP キー	

(3)WPA-PSK の場合

パスワード（事前共有キー）を調べます。

認証方式	WPA-PSK
暗号化方式	TKIP
事前共有キー	

(4)WPA2-PSK の場合

パスワード（事前共有キー）を調べます。

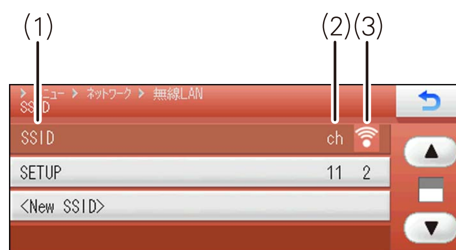
認証方式	WPA2-PSK
暗号化方式	AES
事前共有キー	



- パスワード（ネットワークキー）は大文字、小文字が区別されます。正確に確認してください。
- 無線 LAN アクセスポイントに複数の WEP キー（WEP キー 1、WEP キー 2、WEP キー 3、WEP キー 4 など）を設定している場合は、WEP キー 1 を控えておきます。本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。
- WEP キーは 5/10/13/26 文字のいずれかです。

3 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【無線接続ウィザード】の順に押します。

本製品が有線 LAN に設定されていた場合、「無線に切替えますか？」というメッセージが表示されます。【はい】を押すと、接続できる SSID を検索します。検索が終わると、SSID の一覧が表示されます。



(1)SSID：SSID が表示されます（最大 32 桁のうち表示されるのは 18 桁までです）。
(2) チャンネル：使用しているチャンネルが 1 ～ 14 で表示されます。
(3) 電波強度：電波の強さが 0 ～ 9 の 10 段階で表示されます。

4 【<New SSID>】を押します。

表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます

5 1 で控えた無線 LAN アクセスポイントの SSID（ネットワーク名）を入力し、OK を押します。

タッチパネルからの入力方法P.2-3

6 【インフラストラクチャ】を押します。



アドホック通信を使用する場合は【アドホック】を選びます。画面の指示に従って、設定を進めてください。

7 2 で控えた認証方式を選びます。

【オープンシステム認証】を選んだ場合は、8 へ進みます。
【共有キー認証】を選んだ場合は、9 へ進みます。
【WPA/WPA2-PSK】を選んだ場合は、10 へ進みます。

8 2 で控えた暗号化方式を選びます。

【WEP】を押した場合は、9 へ進みます。
【なし】を押した場合は、12 へ進みます。

9 2 で控えた WEP キーを入力して、OK を押し、12 へ進みます。

タッチパネルからの入力方法P.2-3

10 2 で控えた暗号化方式を選びます。

WPA-PSK の場合は【TKIP】、WPA2-PSK の場合は【AES】を選びます。

11 2 で控えた事前共有キーを入力し、OK を押します。

タッチパネルからの入力方法P.2-3

12 【設定を適用しますか？】と表示されたら、【はい】を押します。

本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続されます。
正常に接続されると、画面に【接続しました】と表示されます。

メモ

- お使いの環境によっては、接続に数分かかることがあります。
- 【パスワードが違います】と表示された場合は、停止/終了 を押してください。入力したパスワードが間違っています。2 の情報を確認して 3 から設定し直してください。
- 【接続に失敗しました】と表示された場合は、停止/終了 を押してください。無線 LAN アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を 1m 程度に近づけて、もう一度、3 から設定し直してください。
- それでも接続できない場合は、⇒「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」P.15-2 をご覧ください。

13  を押します。

WPS/AOSS™

WPS（Wi-Fi Protected Setup）または AOSS™（AirStation One-Touch Secure System：無線 LAN 簡単設定システム）対応の無線 LAN アクセスポイントをお持ちの場合は、アクセスポイントのボタンを押すだけで、本製品の無線 LAN 設定が行えます。
WPS または AOSS™ を使用するには、お使いのルーター、無線 LAN アクセスポイントが、WPS または AOSS™ に対応している必要があります。次のロゴがついているかご確認ください。詳しくは、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。



1 **（液晶ディスプレイモデルの場合）**
メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【WPS/AOSS】の順に選び、OK を押します。

（タッチパネルモデルの場合）
【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【WPS/AOSS】の順に押します。

本製品が有線 LAN に設定されていた場合は、【無線に切替えますか？】というメッセージが表示されます。OK（液晶ディスプレイモデルの場合）または【はい】（タッチパネルモデルの場合）を押すと、無線 LAN に切り替わります。

WPS/AOSS™ 機能を使って、無線 LAN アクセスポイントの検索が開始されます。



検索中は最長で 2 分程度、操作ができなくなります。

2 無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンまたは AOSS™ ボタンを押します。

詳しくは、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
正常に接続されると本製品の画面に【接続しました】と表示されます。



- WPS/AOSS™ 機能で接続中に本製品の画面に表示されるメッセージと状態をご確認ください。

本製品のメッセージ表示と状態	
無線 LAN 設定中	無線 LAN アクセスポイントを検索して、設定をダウンロードしています。
WPS 接続中 AOSS 接続中	無線 LAN アクセスポイントに接続しています。
接続しました	無線 LAN の設定が正常に終了しました。
接続エラー	WPS/AOSS™ を実行している無線 LAN アクセスポイントが複数見つかりました。無線 LAN アクセスポイントを 1 つにして、もう一度、設定をやり直してください。
アクセスポイントが見つかりません	無線 LAN アクセスポイントが見つかりませんでした。一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を 1m 程度に近づけてもう一度、設定をやり直してください。
接続に失敗しました	無線 LAN アクセスポイントの接続に失敗しました。もう一度、設定をやり直してください。 それでも設定がうまくいかない場合は、ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻して、もう一度、設定をやり直してください。 ⇒「ネットワーク設定リセット」P.2-5

- 設定がうまくいかない場合は、⇒「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」P.15-2 をご覧ください。

3 (液晶ディスプレイモデルの場合)

 を押します。

(タッチパネルモデルの場合)

 を押します。

WPS（PIN コード）

WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントをお持ちの場合、PIN（Personal Identification Number）コードを入力することで無線 LAN とセキュリティの設定を行うことができます。
PIN コードを使用してネットワークに本製品を接続するには、お使いのルーター、無線 LAN アクセスポイントが WPS に対応している必要があります。次のロゴがついているかご確認ください。詳しくは、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。



1 （液晶ディスプレイモデルの場合）
メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【WPS（PIN コード）】の順に選び、OK を押します。

（タッチパネルモデルの場合）
【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】、【WPS（PIN コード）】の順に押します。

画面に 8 桁の PIN コードが表示されます。



- WPS（PIN コード）設定中は最長で 5 分程度、パネル操作ができなくなります。
- 設定を中止したい場合は、停止/終了 を押します。

2 本製品の PIN コードを確認しパソコンから無線 LAN アクセスポイントまたはレジストラへ登録します。

無線 LAN の状態表示

無線 LAN をお使いの場合、ネットワーク設定や状況を確認できます。

接続状態

接続状態を表示します。



（液晶ディスプレイモデルの場合）

を押し、/ で【ネットワーク】を選び、【無線 LAN】【無線状態】【接続状態】の順に選び、を押します。

（タッチパネルモデルの場合）

【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】の順に押します。▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【無線状態】を押して、【接続状態】を表示させます。

現在の接続状態が表示されます。【アクティブ（11b)】、【アクティブ（11g)】または【AOSS アクティブ】と表示されているときは、正常に接続されています。



停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

電波状態

電波状態を表示します。



（液晶ディスプレイモデルの場合）

を押し、/ で【ネットワーク】を選び、【無線 LAN】【無線状態】【電波状態】の順に選び、を押します。

（タッチパネルモデルの場合）

【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】の順に押します。▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【無線状態】を押して、【電波状態】を表示させます。

現在の電波の状態（強さ）が表示されます。



停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

SSID

SSID を表示します。



（液晶ディスプレイモデルの場合）

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【無線状態】OK【SSID】の順に選び、OK を押します。

（タッチパネルモデルの場合）

【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】の順に押します。▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【無線状態】を押して、【SSID】を表示させます。

SSID が表示されます。



停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

通信モード

通信モードを表示します。



（液晶ディスプレイモデルの場合）

メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【無線状態】OK【通信モード】の順に選び、OK を押します。

（タッチパネルモデルの場合）

【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】の順に押します。▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【無線状態】を押して、【通信モード】を表示させます。

現在の通信モード（【アドホック】または【インフラストラクチャ】）が表示されます。



停止/終了 を押します。

設定メニューを終了します。

その他の設定

MAC アドレス

本製品の現在の MAC アドレスを確認できます。MAC アドレスは、本製品のネットワークインターフェースに割り当てられたアドレス番号です。MAC アドレスは変更できません。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 メニュー を押し、▲/▼ で【ネットワーク】を選び、OK【無線 LAN】OK【MAC アドレス】の順に選び、OK を押します。
本製品の MAC アドレスが確認できます。

2 停止/終了 を押します。
設定メニューを終了します。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】の順に押します。

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【MAC アドレス】を表示させます。
本製品の MAC アドレスが確認できます。

3 停止/終了 を押します。
設定メニューを終了します。

Windows® 編

第 5 章 ネットワークプリンターとして使う

概要

「かんたん設置ガイド ネットワーク編」の手順に従ってドライバーのインストールを進めると、自動的にネットワークプリンターの設定が完了します。使用するプロトコルは TCP/IP です。

プリンタードライバーのインストールが完了している場合
⇒「プリンタードライバーがインストール済みの場合」P.5-6
インストーラーを使わずにプリンタードライバーのみインストールする場合
⇒「プリンタードライバーをインストールする」P.5-3

●プロトコルとは

パソコン間の通信のルールです。
ネットワークにはさまざまなパソコンが接続されているため、それらの通信形式が違うとお互いの情報交換ができません。そこで作られたのが通信のプロトコルです。通信の開始から終了までの手順やデータサイズ、送受信方法などが細かく決められています。

● TCP/IP とは

もっともよく知られているプロトコルで、インターネットの通信で使用されています。
TCP/IP は、ファイルやプリンターの共有も行うことができます。ネットワーク内では、パソコンなどの機器の特定に IP アドレスが使用されています。

プリンタードライバーをインストールする

プリンタードライバーのみをインストールする場合は、次の手順で設定してください。

1 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
モデル名を選ぶ画面が表示されたときは、モデル名をクリックします。
画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

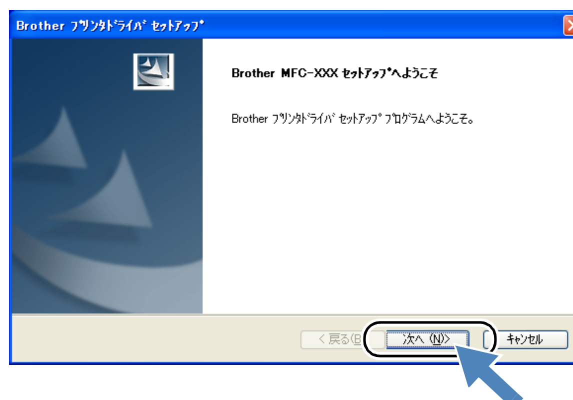
2 「カスタムインストール」をクリックします。



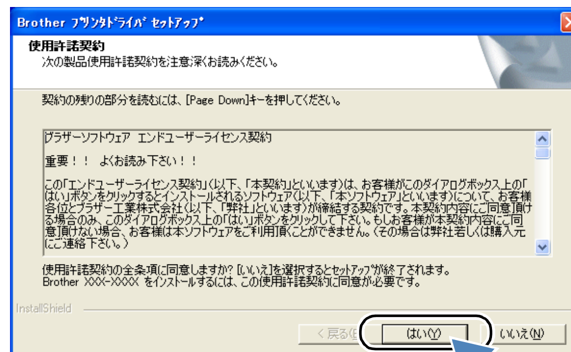
3 「プリンタドライバ（ネットワーク対応のみ）」をクリックします。



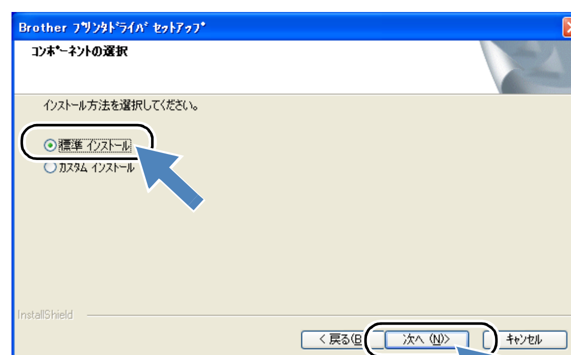
4 ［次へ］をクリックします。



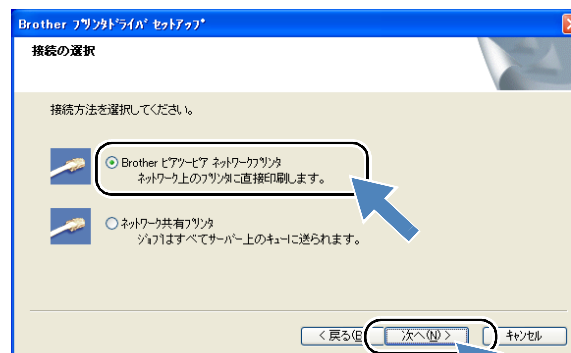
5 使用許諾契約の内容を確認し、［はい］をクリックします。



6 「標準インストール」を選び、［次へ］をクリックします。

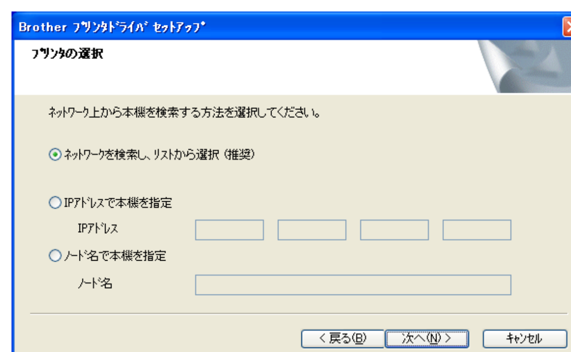


7 「Brother ピアツーピアネットワークプリンタ」を選び、［次へ］をクリックします。



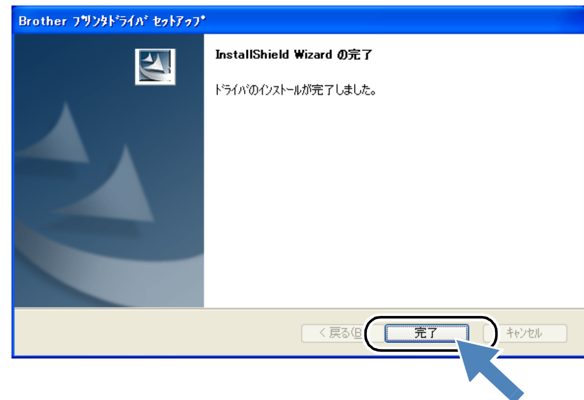
8 プリンターの選択方法を選びます。

以降は、画面の指示に従ってセットアップを進めてください。



9 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーのインストールが完了します。



プリンタードライバーがインストール済みの場合

すでにパソコンにプリンタードライバーがインストールされている場合は、次の手順で TCP/IP ポートの追加と本製品の関連付けを行います。

1 コントロールパネルのプリンターフォルダーを表示します。

- Windows® 7 の場合
  ［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］－ ［プリンターと FAX］の順にクリックします。
- Windows Vista® の場合
  ［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。
- Windows® XP の場合
  ［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。
- Windows® 2000 の場合
  ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

2 プリンターの［プロパティ］を表示します。

- Windows Vista®、Windows® 7 の場合
  設定するプリンターを右クリックして、［プロパティ］を選びます。
- Windows® 2000/XP の場合
  設定するプリンターをクリックして、［ファイル］メニューの［プロパティ］を選びます。

3 ［ポート］タブの［ポートの追加］をクリックします。

4 ［Standard TCP/IP Port］を選び、［新しいポート］をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。
画面の指示に従って、TCP/IP ポートの追加と関連付けを行ってください。

その他のプリンタードライバーのインストール方法

Web Services を使用する（Windows Vista®、Windows® 7 のみ）

Windows Vista®、Windows® 7 の場合は、Web Services を利用してプリンタードライバーをインストールすることができます。



Web Services を利用する場合は、次のどちらかの設定状態になっていることを確認してください。

- ホストコンピューターと本製品が同じサブネット上にある。
- ルーターが 2 つのデバイス間で正しくデータのやり取りができるように設定されている。



本製品に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。



CD-ROM ドライブ内の本製品のプリンタードライバーの保存フォルダーを選択し、DPInst.exe をダブルクリックします。

X:¥install¥driver¥gdi¥32 または¥64（X は CD-ROM ドライブ）



（Windows® 7 の場合）

［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］をクリックします。

（Windows Vista® の場合）

［スタート］メニューから［ネットワーク］をクリックします。

本製品の Web Services 名がアイコンと合わせて表示されます。



本製品の Web Services 名は、モデル名と MAC アドレス（イーサネットアドレス）です。

例）Brother MFC-XXXX［XXXXXXXXXXXX］



本製品を選択し、右クリックして表示されるメニューから「インストール」をクリックします。

インストールが開始されます。

第 6 章 ネットワークスキャン機能を使う

ネットワークスキャン機能とは

本製品でスキャンしたデータを、ネットワーク上のパソコンへ送ったり保存したりできる機能です。



あらかじめ本製品の TCP/IP の設定が必要です。

ネットワークスキャンの設定

本製品のスキャンボタンを押してネットワークスキャン機能を使う場合は、スキャンしたデータを保存するパソコンの名称（コンピューター名）をあらかじめ登録する必要があります。初期設定では、スキャンしたデータは「かんたん設置ガイド ネットワーク編」に記載されているインストール作業を行ったパソコンに保存されます。このまま使用する場合は設定する必要はありません。
IP アドレスを変更したり、登録したパソコンの名前を変える場合には、次の手順で設定してください。
ネットワークスキャン機能の詳細な説明については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
⇒「画面で見るマニュアル」－「スキャナ」



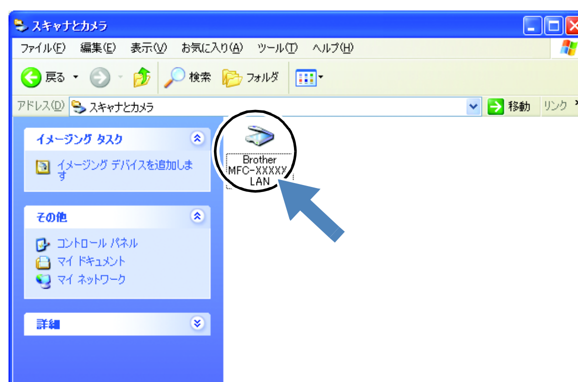
コントロールパネルの［スキャナとカメラ］を表示します。

- Windows® 7 の場合
  ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［スキャナ設定］－［スキャナとカメラ］をクリックします。
- Windows Vista® の場合
  ［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［スキャナとカメラ］をクリックします。
- Windows® XP の場合
  ［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［スキャナとカメラ］をクリックします。
- Windows® 2000 の場合
  ［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］－［スキャナとカメラ］をクリックします。





接続している本製品のモデル名をクリックして選びます。



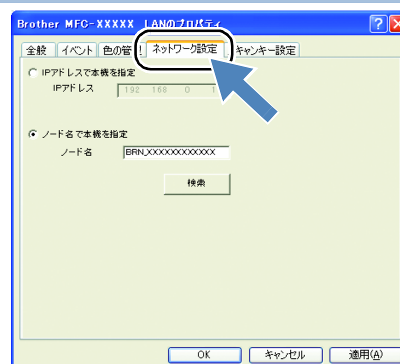
3 右クリックして表示されるメニューから［プロパティ］を選びます。

［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



4 ［ネットワーク設定］タブで項目を設定します。

- IP アドレスを変更する場合は、新しい IP アドレスを入力します。
- 本製品の名称を変更する場合は、「ノード名」に新しい名称を入力します。
- 使用できる機器の一覧を検索してから設定する場合は、［検索］をクリックして該当する製品名を探すこともできます。

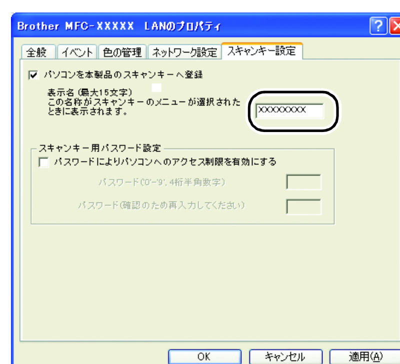


5 ［スキャンキー設定］タブをクリックします。

6 データを保存するパソコンの名称を登録します。

初期設定はお使いのパソコンの名称が表示されています。

操作パネルのスキャンボタンを操作するときに、本製品の画面に表示されるこのパソコンの名称です。パソコンの名称は、マイコンピュータのプロパティ画面で確認できます。



7 ［OK］をクリックします。

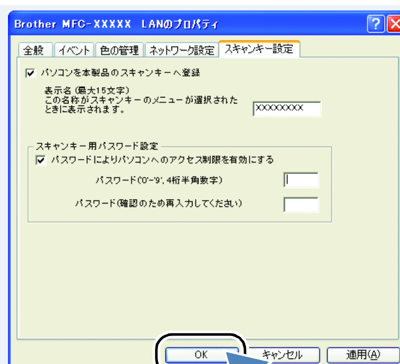
設定が変更されます。



スキャンした画像データの保存に制限をつけたいときは

スキャンした画像データをパソコンに保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。

「スキャンキー用パスワード設定」で 4 桁の数字をパスワードとして登録します。



第 7 章 ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う

この機能は、型番の先頭に「MFC」がついている機種のみご利用になれます。

ネットワーク PC-FAX 送信機能とは

PC-FAX を利用すると、パソコン上のアプリケーションで作成したデータを、ネットワーク上の本製品からファクスとして送信できます。また、送付書を添付して送ることもできます。
PC-FAX を使うときは、あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクス送信先を簡単に設定できます。また、個人情報を登録しておくと、ファクスや送付書に自分の名前や電話番号を自動的に入れることができます。



ファクスの送信手順やアドレス帳の使い方などについては、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」ー「PC-FAX」

ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う

アプリケーションから印刷を実行し、「Brother PC-FAX」を選ぶと PC-FAX ウィンドウが表示されます。このウィンドウで送信先などを設定します。PC-FAX 機能の詳細な説明については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」ー「PC-FAX」

ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う準備



コントロールパネルのプリンターフォルダーを表示します。

- Windows® 7 の場合
  ［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］－［プリンターと FAX］の順にクリックします。
- Windows Vista® の場合
  ［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。
- Windows® XP の場合
  ［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］をクリックします。
- Windows® 2000 の場合
  ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。



ブラザー PC-FAX のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

ブラザー PC-FAX のアイコンは、ドライバーインストール時にインストールされます。
ドライバーのインストール方法については、「かんたん設置ガイド ネットワーク編」をご覧ください。

3 ［ポート］タブをクリックし、使用するポートを選びます。

複数台の MFC をご使用の場合は、ネットワーク PC-FAX に使用するポートをここで指定してください。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



4 ［OK］をクリックします。

これで設定は完了です。



ネットワーク PC-FAX を使用して通常のファクシミリに電話線を通じてファクスを送信する

送信先の欄に送付先のファクス番号を入力するか、PC-FAX アドレス帳から相手先を選んでください。

ファクスの送信手順やアドレス帳の使い方などについては、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」ー「PC-FAX」

第 8 章 ネットワークリモートセットアップ機能を使う

この機能は、型番の先頭に「MFC」がついている機種のみご利用になれます。

ネットワークリモートセットアップ機能とは

本製品の設定をネットワークに接続しているパソコンから変更したり、本製品の電話帳を編集できます。

リモートセットアップを起動する



[スタート] メニューから [すべてのプログラム（プログラム）] － [Brother] － [モデル名] － [リモートセットアップ] の順に選びます。

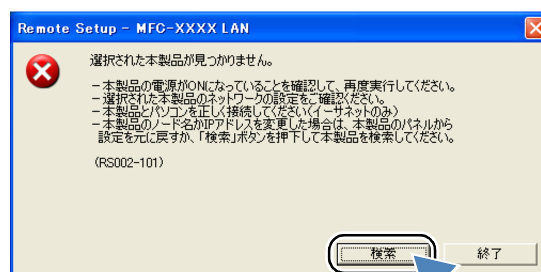
本製品に接続し、設定内容をダウンロードします。ダウンロードが終わると、リモートセットアップのダイアログボックスが表示されます。

詳細な説明については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」－「リモートセットアップ」

本製品との接続に失敗した場合



エラーメッセージの [検索] をクリックします。





表示される機器の一覧から、設定を変更する機器を選び、[OK] をクリックします。

選択した機器への接続を開始します。

再度機器を検索する場合は、[検索] をクリックしてください。





表示される一覧に、接続先の機器が表示されない場合

[手動設定] をクリックして表示されるダイアログボックスで、接続先の IP アドレスまたはノード名を入力して設定してください。

第 9 章 BRAdmin Light で設定する

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する

ブラザーBRAdmin Light は、Java アプリケーションソフトです。BRAdmin Professional（Windows®のみ）のいくつかの機能をサポートした、ネットワークの初期設定用アプリケーションです。
Windows® 2000/XP、Windows® Server 2003/2008、Windows Vista®、Windows® 7 で使用できます。
BRAdmin Light のインストールについては、本製品の付属の「かんたん設置ガイド ネットワーク編」を参照してください。

ネットワークインターフェースを設定する

TCP/IP を利用して印刷するには、本製品に IP アドレスを割り当てる必要があります。

使用するパソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本製品の間にルーターが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。



ゲートウェイの設定
ルーターはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルーターが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルーターの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルーターの取扱説明書を参照してください。

IP アドレスは次の方法で割り当てます。

- **IP アドレス配布サーバーを利用している場合**
  本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

- **IP アドレス配布サーバーを利用していない場合**
  DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合でも APIPA（AutoIP）機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、割り当てられた IP アドレスがお使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light を使用して本製品の IP アドレスを変更してください。



お買い上げ時の IP アドレス
IP アドレス配布サーバーを利用していない場合、お買い上げ時の設定は次のとおりです。
• IP アドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA 機能による自動割当）
現在の IP アドレスを確認する場合
⇒「IP アドレス」P.3-3 P.4-27
⇒「ネットワーク設定リストの出力」P.2-7

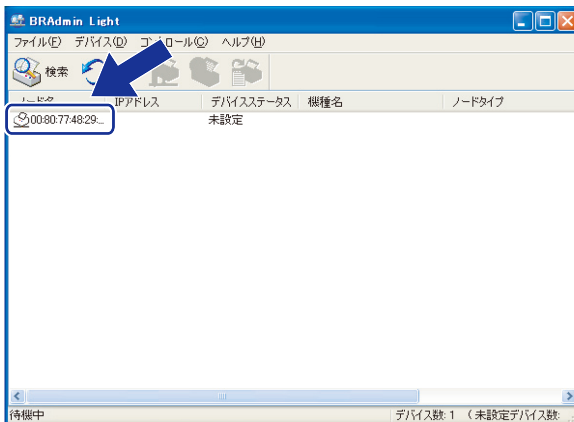


アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Light の「稼働中のデバイスの検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

1 BRAdmin Light を起動します。
［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順にクリックします。

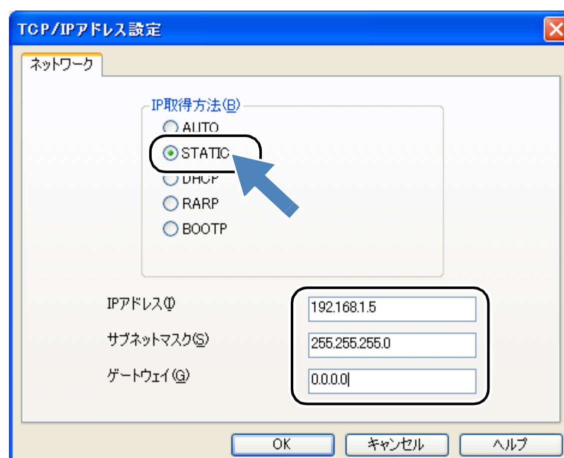
2 BRAdmin Light が新しいデバイスを自動的に検索します。

3 新しいデバイスをダブルクリックします。



メモ
ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本製品のネットワークインターフェースが表示されます。

4 ［STATIC］を選択したあと、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイ］を入力します。



5 ［OK］をクリックします。

6 本製品に IP アドレスが正しく設定されると、ウィンドウの右側にノード名およびプリンター名が表示されます。

BRAdmin Light で設定を変更する

1 BRAdmin Light を起動します。

［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順にクリックします。

2 設定を変更するデバイスを選択します。

3 ［コントロール］メニューから［ネットワーク設定］をクリックします。

4 パスワードを入力します。

パスワードを設定していない場合は、パスワードの入力は必要ありません。

5 必要に応じて、設定を変更します。



- BRAdmin Professional を利用すると、さらに詳細な設定ができます。BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。
- 操作パネルの設定メニューからも本製品のネットワークに関する項目の設定や変更ができます。
⇒「操作パネルから設定する」P.2-2

Macintosh 編

第 10 章 ネットワークプリンターとして使う

設定の流れ

本製品は Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6.x でサポートされている簡易ネットワーク設定機能に対応しています。簡易ネットワーク設定機能を使用すれば、ネットワーク上に接続されている本製品を簡単に使用できるように設定できます。

●プリントサーバー（本製品）の設定

TCP/IP を使用する場合は、プリントサーバーに適切な IP アドレスを設定する必要があります。
Mac OS X は、APIPA（AutoIP）機能に対応しています。APIPA を使用している環境であれば、プリントサーバーも APIPA を使用して自動的に IP アドレスを割り当てるため、IP アドレスを設定しなくてもプリントサーバーを使用できます。
IP アドレスの設定方法については、「IP アドレスを決める」P.1-6 をご覧ください。

プリントサーバーの設定を行う

必要に応じてプリントサーバーに IPアドレスの設定などを行います。わからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

簡易ネットワーク設定機能の設定を行う

ネットワーク上のプリンターをリストアップし、使用できるように設定します。



簡易ネットワーク設定機能を使用するとネットワークプリンターとして利用できます。設定方法については、「かんたん設置ガイド ネットワーク編」をご覧ください。



BRAdmin Light について
BRAdmin Light は、ネットワークプリンターなど、ネットワーク環境に接続された装置の管理を行うソフトウェアです。
BRAdmin Light は、ドライバーをインストールすると自動的にインストールされます。
詳しくは、「かんたん設置ガイド ネットワーク編」をご覧ください。

第 11 章 ネットワークスキャン機能を使う

ネットワークスキャン機能とは

本製品でスキャンしたデータを、ネットワーク上の Macintosh へ送ったり保存したりできる機能です。

あらかじめ本製品の TCP/IP の設定が必要です。

ネットワークスキャンの設定

本製品のスキャンボタンを押してネットワークスキャン機能を使う場合は、あらかじめ受信する Macintosh で「スキャンボタンへの登録」設定が必要です。次の手順で設定してください。
ネットワークスキャン機能の詳細な説明については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
⇒「画面で見るマニュアル」－「スキャナー」

1 ［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［DeviceSelector］の［デバイスセレクタ］をダブルクリックする
「デバイスセレクタ」が表示されます。

2 ［ネットワーク］を選ぶ

3 ［パソコンを本製品のスキャンキーへ登録］をチェックして、［表示名］に Macintosh の名前を入力する

4 必要に応じて、項目を設定する

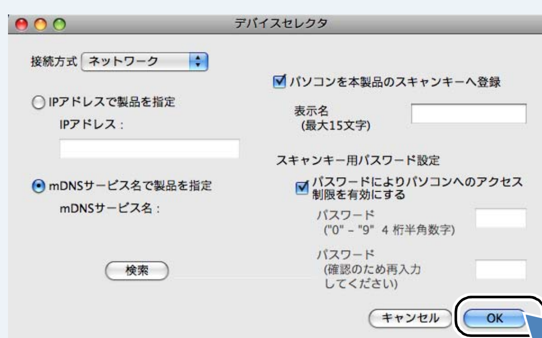
- 本製品が設定されていない場合または異なる製品を設定したい場合、［検索］をクリックして該当する製品名（mDNS サービス名）を選択します。
- 製品の IP アドレスを手動で入力して設定することもできます。

5 ［OK］をクリックします。

設定が変更されます。



スキャンした画像データの保存に制限をつけたいときは
スキャンした画像データを Macintosh に保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。
「パスワードによりパソコンへのアクセス制限を有効にする」をチェックして、4 桁の数字をパスワードとして登録します。



第 12 章 ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う

この機能は、型番の先頭に「MFC」がついている機種のみご利用になれます。

ネットワーク PC-FAX 送信機能とは

PC-FAX 機能を利用すると、Macintosh 上のアプリケーションで作成したデータを、ネットワーク上の本製品からファクスとして送信できます。
PC-FAX を使うときは、あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクス送信先を簡単に設定できます。



ファクスの送信手順やアドレス帳の使い方などについては、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」ー「PC-FAX」

ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う

ネットワーク PC-FAX 機能では、アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選び、プリントダイアログで「ファクス送信」を選ぶと PC-FAX ウィンドウが表示されます。このウィンドウで送信先などを設定します。PC-FAX 機能の詳細な説明については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」ー「PC-FAX」

第 13 章 ネットワークリモートセットアップ機能を使う

この機能は、型番の先頭に「MFC」がついている機種のみご利用になれます。

ネットワークリモートセットアップ機能とは

本製品の設定をネットワークに接続している Macintosh から変更したり、本製品の電話帳を編集できます。

リモートセットアップを起動する



[Macintosh HD] − [ライブラリ] − [Printers] − [Brother] − [Utilities] から [Remote Setup] アイコンをダブルクリックします。

本製品に接続し、設定内容をダウンロードします。ダウンロードが終わると、リモートセットアップの画面が表示されます。

詳細な説明については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」−「リモートセットアップ」

本製品との接続に失敗した場合



[Macintosh HD] − [ライブラリ] − [Printers] − [Brother] − [Utilities] − [Device Selector] の [デバイスセレクタ] をダブルクリックします。



[ネットワーク] を選びます。





[検索] をクリックします。



表示される機器の一覧から、接続する機器を選び、[OK] をクリックします。

選択した機器への接続を開始します。

再度機器を検索する場合は、[検索] をクリックしてください。

第 14 章 BRAdmin Light で設定する

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する

ブラザーBRAdmin Light は、Java アプリケーションソフトです。BRAdmin Professional（Windows®のみ）のいくつかの機能をサポートした、ネットワークの初期設定用アプリケーションです。
Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6.x で使用できます。
ドライバーをインストールすると、自動的に BRAdmin Light もインストールされます。すでにドライバーをインストールしている場合は、再度インストールする必要はありません。

ネットワークインターフェースを設定する

TCP/IP を利用して印刷するには、本製品に IP アドレスを割り当てる必要があります。

使用するパソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本製品の間にルーターが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。



ゲートウェイの設定
ルーターはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルーターが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルーターの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルーターの取扱説明書を参照してください。

IP アドレスは次の方法で割り当てます。

- **IP アドレス配布サーバーを利用している場合**
  本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。
- **IP アドレス配布サーバーを利用していない場合**
  DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合でも APIPA（AutoIP）機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、割り当てられた IP アドレスがお使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light を使用して本製品の IP アドレスを変更してください。



お買い上げ時の IP アドレス
IP アドレス配布サーバーを利用していない場合、お買い上げ時の設定は次のとおりです。
・IP アドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA 機能による自動割当）
現在の IP アドレスを確認する場合
⇒「IP アドレス」P.3-3 P.4-27
⇒「ネットワーク設定リストの出力」P.2-7



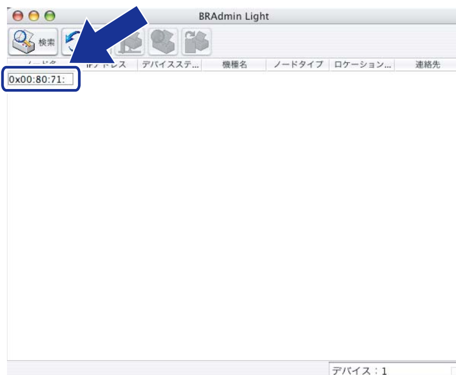
アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Light の「稼働中のデバイスの検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

1 BRAdmin Light を起動します。

デスクトップ上の［Macintosh HD］（起動ディスク）から［ライブラリ（Library)］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］の順に開き、［BRAdmin Light.jar］をダブルクリックします。

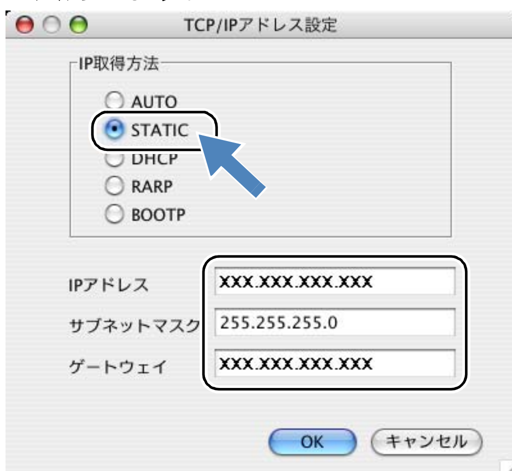
2 BRAdmin Light が新しいデバイスを自動的に検索します。

3 新しいデバイスをダブルクリックします。



メモ　ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能によりIPアドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本製品のネットワークインターフェースが表示されます。

4 ［STATIC］を選択したあと、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイ］を入力します。



5 ［OK］をクリックします。

6 本製品に IP アドレスが正しく設定されると、ウィンドウの右側にノード名およびプリンター名が表示されます。

BRAdmin Light で設定を変更する

1 BRAdmin Light を起動します。
デスクトップ上の［Macintosh HD］（起動ディスク）から［ライブラリ（Library）］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］の順に開き、［BRAdmin Light.jar］をダブルクリックします。

2 設定を変更するデバイスを選択します。

3 ［コントロール］メニューから［ネットワーク設定］をクリックします。

4 パスワードを入力します。

パスワードを設定していない場合は、パスワードの入力は必要ありません。

5 必要に応じて、設定を変更します。



操作パネルの設定メニューからも本製品のネットワークに関する項目の設定や変更ができます。
⇒「操作パネルから設定する」P.2-2

こんなときは

第 15 章 困ったときは（トラブル対処方法）

この章では、ネットワークに関してトラブルが発生したときの対応方法について説明しています。
該当する問題のページをご覧ください。

無線 LAN アクセスポイントに接続できない

次の項目を確認してください。

●無線 LAN アクセスポイントと、本製品が離れ過ぎていませんか？間に障害物がありませんか？

本製品を見通しの良い場所へ移動させたり、できるだけ無線 LAN アクセスポイントに近づけてください。また、セットアップ時は 1m 以内に近づけてお試しください。

●近くに無線 LAN に影響を及ぼすものはありませんか？

本製品の近くに、他の無線 LAN アクセスポイントやパソコン、Bluetooth® 対応機器、電子レンジ、デジタルコードレス電話がある場合は離してください。

次の場合は、お使いのブロードバンドルーターなどのメーカーにお問い合わせください。

●無線 LAN アクセスポイントが正常に動作していますか？

無線 LAN を内蔵したパソコンでインターネットに接続できるかお試しください。

●アクセス制限を設定していませんか？

無線 LAN アクセスポイントの MAC アドレスフィルタリング機能を使用している場合は、本製品の MAC アドレスを無線 LAN アクセスポイントに登録して、通信を許可してください。



本製品の MAC アドレス（イーサネットアドレス）は、「MAC アドレス」P.4-57 でご確認ください。
有線 LAN と無線 LAN では、MAC アドレスが異なりますので注意してください。

● SSID（ネットワーク名）を表示させない設定にしていませんか？

無線 LAN アクセスポイントが SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）に設定されているときは、本製品から自動的に見つけることはできません。SSID を操作パネルまたはパソコンの画面から本製品に入力してください。

⇒「SSID が隠ぺいされている場合」（液晶ディスプレイモデルの場合）P.4-43
⇒「SSID が隠ぺいされている場合」（タッチパネルモデルの場合）P.4-48

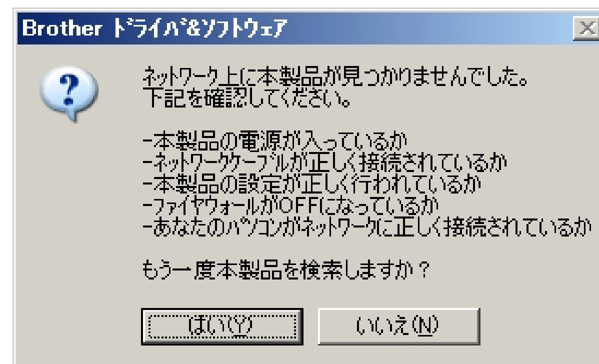
●パスワード（ネットワークキー：セキュリティキー、暗号化キーなど）の設定は正しいですか？

大文字、小文字は区別されます。認証されないときは、パスワードが間違っていないか確認してください。

●近くで別の無線機器を使用していませんか？

近隣などですでに別の無線機器が導入されているときは、電波干渉を避けるために無線 LAN アクセスポイントのチャンネル番号をできるだけ離して（推奨：チャンネル番号 5 以上）設定してください。

インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない



次の項目を確認してください。

1 お使いのパソコンから本製品までの接続機器が正常に稼働しているか確認してください。

⇒「ネットワーク機器に問題がないか調べるには」P.15-5

2 セキュリティソフトによってブロックされていないか確認してください。

⇒「セキュリティソフトウェアについて」P.15-6

3 設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないか確認してください。

⇒「ネットワークの設定がうまくいかないときは」P.15-7

印刷／スキャンできない

次の手順を確認してください。

1 お使いのパソコンから本製品までの接続ケーブルや接続機器が正常に動作しているか確認してください。

⇒「ネットワーク機器に問題がないか調べるには」P.15-5

2 セキュリティソフトによってブロックされていないか確認してください。

⇒「セキュリティソフトウェアについて」P.15-6

3 設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないかを確認します。

⇒「ネットワークの設定がうまくいかないときは」P.15-7

4 古い印刷ジョブを削除してください。

印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。

Windows® の場合は、プリンターフォルダー内のプリンターアイコンをダブルクリックし、［プリンタ］メニューから［すべてのドキュメントの取り消し］を行ってください。

プリンターフォルダーの表示方法
＜ Windows® 7 ＞
［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］－［プリンターと FAX］の順にクリックします。

＜ Windows Vista® ＞
［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］の順にクリックします。

＜ Windows® XP ＞
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

＜ Windows® 2000 ＞
［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

5 再度、印刷／スキャンを試してください。

それでも印刷／スキャンなどができない場合は、ドライバーをアンインストールして、「かんたん設置ガイド ネットワーク編」に従って、再度インストールすることをお勧めします。



ドライバーのアンインストール方法については、「かんたん設置ガイド　ネットワーク編」をご覧ください。

ネットワーク機器に問題がないか調べるには

お使いのパソコンから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか次の項目を確認してください。

●本製品の電源は入っていますか？

電源を入れて、印刷できる状態であることを確認します。エラーが出ている場合は「ユーザーズガイド 基本編」の「こんなときは」を参照してエラーを解除してください。

●パソコンと無線 LAN アクセスポイントが、ネットワーク接続できていますか？

インターネット閲覧や E メールなどの機能が正常に動作しているか確認してください。

●接続方法を変更していませんか？

接続方法を変更したときは、使用する接続方法に切替えてください。

⇒「有線 LAN ／無線 LAN を切替える（DCP-595CN、MFC-495CN/695CDN/695CDWN/935CDN/935CDWN/J950DN/J950DWN）」P.2-4

●有線 LAN の場合

接続したルーターやハブ（HUB）のランプは点灯／点滅していますか？

一般的に、ルーター／ハブ（HUB）には接続状態を示すリンクランプがあり、点灯／点滅で接続状態を確認できます。本製品を接続している LAN ポートのリンクランプを確認します。

- ランプが点灯／点滅している場合：接続には問題ありません。
- ランプが点灯／点滅していない場合：接続に問題があるようです。
  次の項目を確認してください。

- **ハブ（HUB）またはルーターなどの LAN ポートにパソコンと本製品が正しく接続されていますか？**
  接続されていない場合は正しく接続しなおしてください。
  ストレートケーブル以外は使用しないでください。他のケーブルで接続しなおしてください。
- **ほかの LAN ポートに接続しなおしたり、ほかの LAN ケーブルに差し換えてお試しください。**
  それでも点灯／点滅しない場合は、ハブ（HUB）または、ルーターのメーカーにご相談ください。

●無線 LAN の場合

「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」の項目で当てはまるものはありませんか？

⇒「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」P.15-2

セキュリティソフトウェアについて

●インストール

市販のセキュリティソフトでパーソナルファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。



セキュリティ許可を促す画面で、拒否をするとインストールの完了ができないことがあります。この場合は、セキュリティソフトを再度インストールするか、セキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

●印刷やその他の機能をご利用になるとき

インストール完了後、印刷やその他の機能をご使用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可をしてください。拒否をした場合の対処や印刷に使用するポートの通信許可の方法については、セキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

●本製品のネットワーク機能をご利用になるとき

次の機能をご利用いただく場合は、セキュリティ設定を行う必要があります。

- ネットワークスキャン
- ネットワーク PC-FAX 受信（MFC モデルで Windows® のみ）
- BRAdmin Light

それぞれのセキュリティソフトの設定で、次のポート番号を追加してください。

ポート番号の追加方法は、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書、またはセキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

機能	名称 *	ポート番号	プロトコル（TCP/UDP）
ネットワークスキャン	例）Brother NetScan	54925	UDP
ネットワーク PC-FAX 受信（MFC モデルで Windows® のみ）	例）Brother PC-FAX BX	54926	UDP
BRAdmin Light	例）SNMP	161	UDP

*名称は任意です。

ネットワークの設定がうまくいかないときは

設定しているネットワーク情報（IP アドレスおよびサブネットマスク）に誤りがないかどうかを確認します。
Windows® の場合は、「ネットワークプリンタ診断修復ツール」が用意されています。はじめにこのツールを使って自動で修復できるかどうかをお試しください。
Macintosh の場合は、お使いのパソコンと本製品の IP アドレスおよびサブネットマスクを手動で確認、再設定を行ってください。再設定について詳しくは、「かんたん設置ガイド　ネットワーク編」－「困ったときは」をご覧ください。

「ネットワークプリンタ診断修復ツール」を使用する（Windows® のみ）

「ネットワークプリンタ診断修復ツール」でネットワークプリンターを診断し、その結果を表示、場合によっては問題を自動で修復します。
C:￥Program Files￥Brother￥Brmfl08l￥モデル名￥BrotherNetTool.exe
上記の「BrotherNetTool.exe」をダブルクリックして、診断ツールを起動します。
それでも改善されないときは、お使いのパソコンと本製品の IP アドレスおよびサブネットマスクを手動で確認、再設定を行ってください。
診断結果の確認方法や再設定について詳しくは、「かんたん設置ガイド　ネットワーク編」－「困ったときは」をご覧ください。

パソコンのネットワーク情報を調べる

1 ［スタート］メニューから［プログラム］－［アクセサリ］を選び、［コマンドプロンプト］をクリックします。

2 「ipconfig」と入力し、Enter キーを押します。

3 「IP Address（IP アドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を探して、設定値を確認してください。
例）

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

J:¥>ipconfig

Windows IP Configuration


Ethernet adapter ローカル エリア接続:

        Connection-specific DNS Suffix  . :
        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.100.200
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . : 192.168.254.254

J:¥>
```
ここを確認

4 「exit」と入力し、Enter キーを押して終了します。

本製品の IP アドレスの確認方法

1 ネットワークの設定内容リストを印刷して、「IP Address（IP アドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を探して、設定値を確認してください。
⇒「ネットワーク設定リストの出力」P.2-7

例）

ここを確認

```
<IP Settings >
IP Address              192.168.11.250     (set manually)
Subnet Mask             255.255.255.0
IP Gateway              192.168.100.200
IP Config               STATIC
Boot Tries              3
IP Filter               Disabled
```

お使いのパソコンと本製品の **2** つの **IP** アドレスを確認してください。下図にあるように、ネットワークアドレス部が同じかどうかを確認します。例えば、**Subnet Mask**（サブネットマスク）が、「**255.255.255.0**」の場合、右端の各機種のアドレスだけが違う状態が正常な状態です。

Subnet Mask（サブネットマスク）は、**IP Address**（**IP** アドレス）に被せるマスクと考えてください。下図の例では、**Subnet Mask**（サブネットマスク）の「**255**」にかかる部分がネットワークアドレス部、「**0**」にかかる部分がホストアドレス部と呼ばれ、各機器のアドレスになります。

例）**IP** アドレスが「**192.168.100.250**」の場合

ネットワークアドレス部　ホストアドレス部

IPアドレス　192.168.100.250
サブネットマスク　255.255.255.0

IP アドレス	あるパソコンは、192.168.100.202、他のパソコンには 192.168.100.203、本製品には 192.168.100.250 のように、サブネットマスクの「0」にかかる部分の数値を 2 ～ 254 の間で設定してください。
サブネットマスク	通常は、255.255.255.0 であれば問題ありません。プリンターを使用する全てのパソコンで同じ値にしてください。

● 正常な状態なら・・・
IP アドレスに関しては問題ありません。次の確認へ進んでください。

● 正常な状態でないなら・・・
IP アドレスが重複しないように設定し直してください。
例えば、次のように設定します。
パソコン側の **IP** アドレス　：**192.168.100.202**
本製品側の **IP** アドレス　：**192.168.100.250**
⇒「IP アドレス」P.3-3 P.4-27

●ルーターやスイッチングハブの電源を入れなおす

頻繁に接続しなおしたり、接続している製品の IP アドレスの変更を繰り返し行った直後には、IP アドレス設定に誤りがなくても正常に動作しない場合があります。ルーターやハブ（HUB）の再起動（電源の入れなおし）をしてください。

第 16 章 付録

操作パネル以外から IP アドレスを設定する

概要

TCP/IP を使用するには、ネットワーク上の機器に固有の IP アドレスを設定する必要があります。
この章では、本製品の IP アドレスの設定方法について説明します。

IP アドレスの設定



IP アドレスの自動設定機能（APIPA）
APIPA が使用可能で、DHCP などの IP アドレス配布サーバーがない環境では、
169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で自動的に IP アドレスが割り当てられます。
お買い上げ時の設定では、APIPA は使用可能に設定されています。
APIPA を使用しない場合は、「APIPA」を【オフ】に設定してください。
⇒「APIPA」P.3-16 P.4-38

初期設定の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。IP アドレスの変更は、次のいずれかの方法で設定できます。

- 操作パネルから設定を変更する P.3-3 P.4-27
- 手動で IP アドレスを設定する／ BRAdmin Light P.16-2
- DHCP を使用して自動的に設定する P.16-2
- APIPA を使用して自動的に設定する P.16-2
- RARP（rarp）を使用する P.16-2
- BOOTP を使用する P.16-3

IP アドレスの設定方法

手動で IP アドレスを設定する／ BRAdmin Light

BRAdmin Light は、Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003/2008、Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6.x で使用できるソフトウェアです。
TCP/IP に対応していて、ネットワークと本製品の設定を管理できます。また、本製品のファームウェアのアップデートにも利用できます。

BRAdmin Light では、本製品との接続に TCP/IP を使用して、IP アドレスを変更できます。本製品の初期設定の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。
ただし、DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、自動的に IP アドレスが設定されます。お買い上げ時の設定では、APIPA の機能が有効になっています。

詳しくは、「BRAdmin Light で設定する」P.9-1 P.14-1をご覧ください。

DHCP を使用して自動的に設定する

動的ホスト構成プロトコル（DHCP）は、IP アドレス自動割り当て機能の 1 つです。ネットワーク上に DHCP サーバーがある場合は、その DHCP サーバーから本製品に自動的に IP アドレスが割り当てられます。

APIPA を使用して自動的に設定する

DHCP サーバーが利用できない場合は、本製品の IP アドレスの自動設定機能（APIPA）によって IP アドレスとサブネットマスクを自動的に割り当てます。本製品の IP アドレスを 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲、サブネットマスクは 255.255.0.0、ゲートウェイアドレスは 0.0.0.0 に自動的に設定します。
お買い上げ時の設定では、APIPA は使用可能に設定されています。

RARP を使用する

UNIX ホストコンピューターなどで Reverse ARP（RARP）機能を使用し、本製品の IP アドレスを設定できます。

00:80:77:31:01:07 BRNXXXXXXXXXXXX

最初のエントリは、本製品の MAC アドレス（イーサネットアドレス）で、2 番目のエントリは本製品の名前です。この名前は、/etc/hosts ファイル内の名前と同じでなければなりません。

rarp デーモンが実行されていない場合は、実行する必要があります。このコマンドは、使用しているシステムによって、rarpd、rarpd-a、in.rarpd-a などと、少しずつ異なります。詳細は、man rarpd と入力するか、システムのマニュアルをご覧ください。

本製品の電源を入れると、rarp デーモンから IP アドレスが割り当てられます。

BOOTP を使用する

BOOTP を使用して IP アドレスを設定するには、ホストコンピューターに BOOTP がインストールされ、実行されている必要があります。ホスト上の /etc/services ファイルに BOOTP がリアルサービスとして記述されていなければなりません。man bootpd と入力するか、システムのマニュアルをご覧ください。
通常、BOOTP は /etc/inetd.conf ファイルを使用して起動されますので、このファイルの bootp エントリの行頭にある # を削除して、この行を有効にしておく必要があります。
一般的な /etc/inetd.conf ファイル内の bootp エントリを次に示します。

#bootp dgram udp wait /usr/etc/bootpd bootpd -i


システムによって、このエントリには bootp ではなく bootps が使用されている場合があります。

BOOTP を有効にするには、エディタを使用して行頭の # を削除します。# がない場合は、BOOTP はすでに有効になっています。
次に、設定ファイル（通常は /etc/bootptab）を編集し、ネットワークインターフェースの名前、ネットワークの種類（Ethernet の場合は 1）、MAC アドレス（イーサネットアドレス）、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。ただし、この記述フォーマットは標準化されていないため、システムのマニュアルをご覧ください。
一般的な /etc/bootptab エントリの例を、次に示します。

BRN008077310107 1 00:80:77:31:01:07 192.189.207.3
および
BRN008077310107:ht=ethernet:ha=008077310107:
ip=192.189.207.3:

BOOTP ホストソフトウェアの中には、ダウンロードするファイル名が設定ファイル内に含まれていないと、BOOTP リクエストに応答しないものがあります。そのような場合には、ホスト上に null ファイルを作成し、このファイルの名前とパスを設定ファイル内で指定します。

RARP での設定の場合と同じように、ネットワークプリンターの電源を入れると、BOOTP サーバーから IP アドレスが割り当てられます。

オートマチックドライバーインストーラーを使う

プリンタードライバーをご使用の設定に合わせて作成するツールです。ネットワーク接続で使用するオリジナルドライバーを作成でき、ユーザに配布することができます。配布インストーラーは、OS ごとの作成が必要です。
プリンタードライバーとソフトウェア（ピアツーピア接続の場合）を同時にインストールできるため、わずらわしい設定作業をすることなくプリンタードライバーの設定が可能になり、インストール作業の時間と手間を省けます。
このソフトウェアは Windows® 専用です。

対応ポート	OS
LPR	Windows® 2000/XP、Windows Vista® および Windows® 7



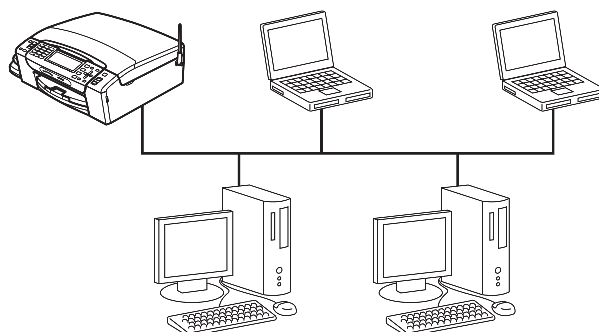
本製品はパラレルポートおよび IPP はサポートしていません。

接続方法

オートマチックドライバーインストーラーは、次のネットワーク環境で使用できます。

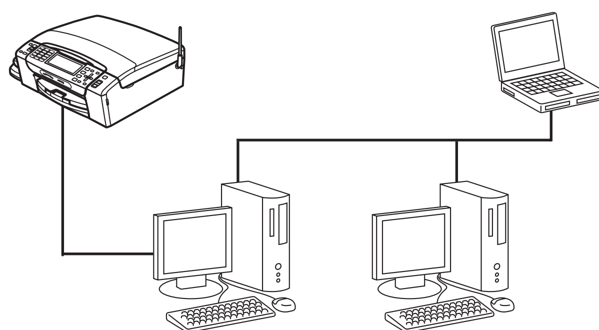
ブラザーピアツーピアネットワークプリンター

本製品がネットワーク経由で直接パソコンと接続されている環境です。（LPR、NetBIOS など）



ネットワーク共有プリンター

本製品が特定のパソコンまたはサーバーなどを経由してネットワーク接続している環境です。
（Windows® サーバーによる共有、Windows® クライアントによる共有など）



オートマチックドライバーインストーラーを使う

1 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

2 「オートマチックドライバインストーラ」を起動します。

「カスタムインストール」、「ネットワークユーティリティ」、「オートマチックドライバインストーラ」の順にクリックします。

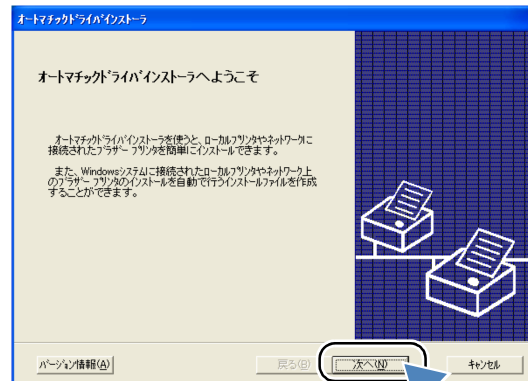
> **メモ**
> Windows Vista® または、Windows® 7 をお使いの場合、ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、［続行］または［はい］をクリックします。



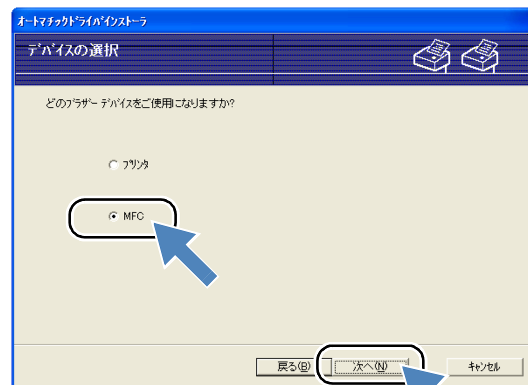




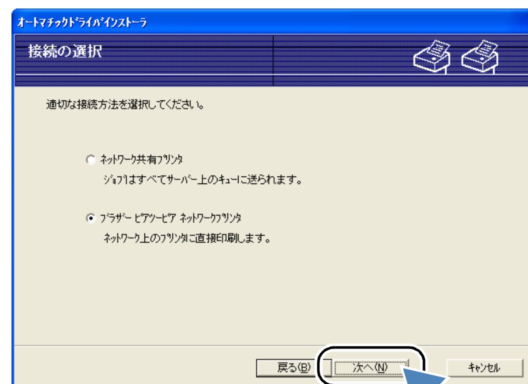
3 ［次へ］をクリックします。



4 「MFC」を選び、［次へ］をクリックします。



5 接続方法を選び、［次へ］をクリックします。



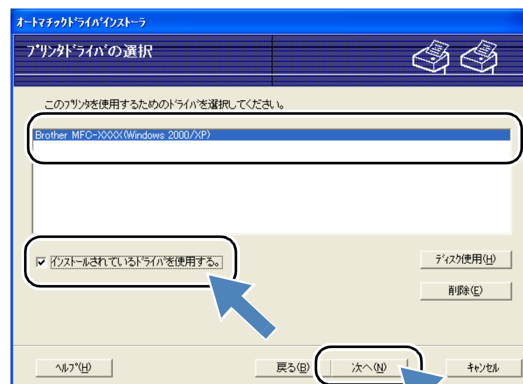
6 本製品を選び、［次へ］をクリックします。



メモ
プリンターに IP アドレスが設定されていない場合は、デバイスを選択して、［IP の設定］をクリックします。表示される画面で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイのアドレスを設定します。

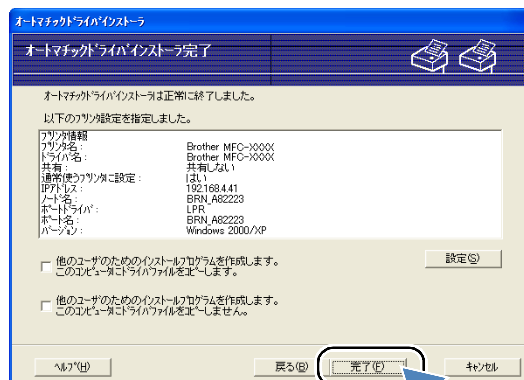
7 「インストールされているドライバを使用する」をオンにして表示される画面で、プリンタードライバーを選び、［次へ］をクリックします。

プリンタードライバーが表示されない場合は、［ディスク使用］をクリックして、プリンタードライバーのある場所を指定してください。



8 内容を確認して、［完了］をクリックします。

選択したプリンタードライバーがインストールされます。





プリンタードライバーのインストールプログラムを作成する場合は、次のいずれかにチェックしてください。

- 「他のユーザのためのインストールプログラムを作成します。このコンピュータにドライバファイルをコピーします。」
- 「他のユーザのためのインストールプログラムを作成します。このコンピュータにドライバファイルをコピーしません。」



ネットワーク共有用のインストールプログラムを、ネットワークプリンターにアクセスできないユーザーが実行すると、ポートの設定が LPT1 になります。

オープンソースライセンス公開

OpenSSL について

OpenSSL License

Original SSLeay License

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1.Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3.All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4.If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

Part of the software embedded in this product is gSOAP software.

This product includes SNMP software from WestHawk Ltd.

用語集

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。銅線の一般加入者電話（アナログ）回線を利用して、数M ～数＋ Mbps の高速データ通信を可能にする通信方式です。

● APIPA

Automatic Private IP Addressing の略。IP アドレスの自動的な割り当て管理機能です。最初に自身のシステムに割り当てる IP アドレスを「169.254.1.0 ～ 169.254.254.255」の範囲からランダムに 1 つ選びます。そして、ARP 要求をネットワークにブロードキャストすることによって、その IP アドレスがほかのシステムで利用されていないかどうかを確認します。もし他のシステムから ARP の応答が返ってくれば、その IP アドレスは使用中であるとみなし、別の IP アドレスで再試行します。このようにして未使用の IP アドレスを見つけ、自身のシステムに割り当てることによって、IP アドレスが重複しないことを保障します。

● ARP

Address Resolution Protocol の略。IP アドレスから MAC アドレス（イーサネットアドレス）を求めるためのプロトコルです。

● BOOTP

BOOTstrap Protocol の略。ハードディスクを搭載しないディスクレスクライアントシステムが、ネットワークアクセスを行うための IP アドレスやサーバーアドレス、起動用プログラムのロード先などを見つけだし、システムを起動できるようにすることを目的として開発された UDP/IP 上のプロトコルです。BOOTP を利用すれば、ネットワーククライアントの IP アドレスやノード名、ドメイン名、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバーアドレスなどの情報を、クライアントの起動時に動的に割り当てられるようになります。TCP/IP ネットワークでは、各クライアントごとにこれらのネットワーク情報を設定する必要がありますが、BOOTP を利用すれば、クライアントの管理をサーバー側で集中的に行えるようになります。そのあと、一部を改良された DHCP が開発され、広く利用されるようになっています。

● DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol の略。DHCP は、IP アドレスやサーバーアドレスなどの設定ファイルを起動時に読み込めるように開発された BOOTP（BOOTstrap Protocol）をベースとする上位互換規格です。

BOOTP は、クライアントの IP アドレスやノード名などはあらかじめ決定しておく必要がありましたが、DHCP では、クライアントがネットワークに参加するためのすべてのパラメータ（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、ドメイン名など）を動的に割り当てることができます。サービスを実行するにはサーバーもしくは、その機能を有するルーターが必要です。

● DNS サーバー

Domain Name System という体系で命名されたホスト名（ドメイン名）から IP アドレスを調べるためのサービスです。ネットワーク上の資源を管理・検索するためのシステムです。インターネットの IP アドレスの名前の解決に広く利用されています。

● FTTH

Fiber To The Home の略。電話局から各家庭までの加入者線を結ぶアクセス網を光ファイバー化し、高速な通信環境を構築する計画のことを指します。

光ファイバーを使用すると、高速なインターネット接続や格安なひかり電話サービスを利用することができます。

IPv6

Internet Protocol Version 6 の略。現行のインターネットプロトコル（IP）IPv4 をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加などの改良を施した次世代インターネットプロトコルです。IPv4 のアドレス長が 32 ビットであるのに対して、IPv6 では 4 倍の 128 ビットとなり、提供されるアドレス空間は IPv4 の 2 の 96 乗倍という広大さとなります。また、アドレスの集約化を容易にするために階層的にアドレスを割り当てるなど、アドレスアーキテクチャが変更されています。

ISDN

Integrated Services Digital Network の略。「総合デジタル通信網」と呼ばれるサービス体系の総称です。

LAN

Local Area Network の略。同一フロア、同一のビル内などにあるコンピューター同士を、Ethernet などの方法で接続したネットワークのことを指し、閉鎖されたネットワークという位置付けがあります。

MAC アドレス（イーサネットアドレス）

OSI 参照モデルのデータリンク層で定義されるインターフェースカードのアドレス。Media Access Control の略。機器内部に記憶されているので、ユーザーが変更することはできません。

mDNS（multicast DNS）

DNS サーバーが存在しないような小規模なローカルエリアネットワーク環境においても、クライアントコンピューターがネットワーク上に存在する機器を名前で検索して利用できるようにする機能です。Apple Mac OS X の簡易ネットワーク設定機能などで使われています。

ping

Packet InterNetwork Groper の略。相手先ホストへの到達可能性を調べるコマンドです。

RARP

Reverse Address Resolution Protocol の略。TCP/IP ネットワークにおいて、MAC アドレス（イーサネットアドレス）から IP アドレスを求めるのに使われるプロトコルです。

SOHO

Small Office / Home Office の略。小人数のオフィスや、家庭で仕事をする個人事業者を指します。大企業と対照的に使用されることが多いようです。

TCP/IP

Transmission Control Protocol / Internet Protocol の略。インターネットで使用されているプロトコル、通信ソフト（アプリケーション）を特定して通信路を確立するプロトコル（TCP）と、通信経路（IP）から構成されています。OSI 参照モデルでは TCP はレイヤー 4、IP はレイヤー 3 に対応しています。

WINS

Windows® Internet Name Service の略。Windows® 環境で、ネームサーバーを呼び出すためのサービスです。サービスを実行するにはサーバーが必要です。

WWW

World Wide Web の略。インターネットでの情報検索システム、サービスシステムのひとつです。

●カテゴリ

LAN ケーブルの品質を指します。カテゴリ 5 は 100BASE-TX で利用されています。将来ギガビット・イーサネット（1000BASE-T）によるネットワークを想定する場合は、カテゴリ 6 を選択することが推奨されています。カテゴリ 5 で保証される周波数帯域は 100MHz までですが、カテゴリ 6 では 250MHz まで保証されています。また、LAN ケーブルは UTP ケーブルと呼ばれる場合もあり、UTP は Unshielded Twisted Pair の略で、「より線」のことを指しています。シールド付きのものは、STP ケーブルと呼ばれます。

●ゲートウェイアドレス

ネットワークとネットワークを接続する際の、外部のネットワークとの接点となるホストの IP アドレスを指します。別名「デフォルトルーター」や、単に「ルーター」と呼ばれる場合もあります。ルーターは、同一ネットワーク内に存在するホストである面と、他のネットワークにも同時に所属している両面を持っています。

●サブネットマスク

ネットワークを複数の物理ネットワークに分割するのに使用します。サブネットマスクはクラスごとに固定されています。

クラス A	255.000.000.000
クラス B	255.255.000.000
クラス C	255.255.255.000

ルーターの取扱説明書によっては、192.168.1.1 / 255.255.255.0 のことを、192.168.1.1/24 と表記している場合があります。255.255.255.0 を 2 進数に換算すると、先頭から 1 が 24 個並びます。"/24" とは、この事を指します。24bit 以外のマスク値を設定することも可能ですが、IP 管理が複雑になりますので、マスク値は 24bit でご利用することをお勧めします。なお、ローカルネットワークで利用する IP アドレスのことをプライベート IP アドレスと呼び、こちらもクラスがわかれています。

クラス A	010.000.000.000 ～ 010.255.255.255
クラス B	172.016.000.000 ～ 172.031.255.255
クラス C	192.168.000.000 ～ 192.168.255.255

●スイッチング・ハブ

スイッチング機能を持つハブ（集線装置）。パケットをその宛先に応じて振り分け、ネットワークトラフィックを局所化して、ネットワークの全体的な通信バンド幅を増やすことができるのが特徴です。10BASE-T や 100BASE-TX などのネットワークでは、各ネットワーク機器同士をハブで相互に接続していますが、Ethernet の通信方式の関係上、ノード数が増えると有効な帯域幅が急速に飽和するという特性を持っています。そこで、実際に通信をするポート同士だけを直結して通信を行い、それ以外のポートへは流れないようにするスイッチング技術が開発されました。これを実装したハブをスイッチング・ハブといいます。

●ノード

node。ネットワークに接続されているコンピューターなどの機器を指します。「ノード名」と「ホスト名」は同じ意味です。

●ルーター

ネットワーク間（LAN と LAN、LAN と WAN）の接続を行うネットワーク機器の一つです。ルーターはインターネット接続されたアドレスを変換し、LAN 内からアクセスできるようにしたり、LAN 内のサーバーを指定したポートを通じて外部に公開したりする NAT（アドレス変換）の機能があります。

無線 LAN に関する用語

IEEE802.11b 及び IEEE802.11g
IEEE（米国電気電子学会）で定めた無線 LAN 規格で、IEEE802.11b は最大 11M ビット / 秒での通信が可能です。IEEE802.11g は IEEE802.11b の上位互換であり、更に高速な最大 54M ビット / 秒での通信が可能です。本製品の無線 LAN 機能は IEEE802.11b 及び IEEE802.11g の両方の規格に対応しています。

AES
米国商務省標準技術局が定めた次世代標準暗号化方式のことです。
IEEE802.11i の暗号化方式の一つに採用されています。

AOSS™
AirStation One-Touch Secure System の略。バッファロー社の無線 LAN アクセスポイント、エアーステーションシリーズに搭載されている機能で、接続設定とセキュリティ設定が簡単に行えます。

ASCII
American Standard Code for Information Interchange の略。アメリカ規格協会が定めた情報交換用の文字や記号を数値表現したものです。例えば ASCII コードの「41」はアルファベットの「A」を表します。

HEX
HEXADECIMAL の略。数字の 0 ～ 9 及びアルファベットの A ～ F を使用する 16 進数表示です。

MAC アドレスフィルタリング
無線 LAN アクセスポイントに MAC アドレスを登録することにより、許可された無線 LAN 端末以外は接続できなくなります。

SSID
Service Set Identifier の略。ネットワーク名とも呼ばれる SSID は、無線 LAN を他の無線 LAN と区別するネットワークの識別子のことで、無線 LAN をグループ化するために用いられます。通常は無線 LAN アクセスポイントから発信されるビーコン等のパケットに含まれますが、ネットワークによっては、セキュリティ強化の為に SSID を表示しないようにする場合もあります。（SSID の隠ぺい）

TKIP
Temporal Key Integrity Protocol の略。WEP の後継にあたる暗号化の規格で、暗号化方式は WEP と同じ RC4 を利用しています。
TKIP は一定時間ごと、または一定パケット量ごとに暗号化キーが更新されるため WEP キーによる暗号化よりも高いセキュリティになります。

WEP
Wired Equivalent Privacy の略。IEEE802.11 で標準化されている暗号化方式です。無線 LAN アクセスポイントやクライアントで共通の暗号化キー（WEP キー）を設定して通信の暗号化を行います。設定した暗号化キーが一致しない限り暗号化されたデータを解読することができません。

WPA-PSK
無線 LAN の業界団体 Wi-Fi Alliance® が提唱する WPA（Wi-Fi Protected Access™）の Personal モードです。WPA-PSK は、無線 LAN で使用される暗号化技術を用いた認証方式の一つであり、TKIP または AES 暗号化を使用した PSK（事前共有キー）による認証を行います。

● WPA2-PSK
次世代標準暗号化方式の「AES」を使用した強力な暗号技術を用いた承認方式の一つであり、AES 暗号化キーを使用した PSK（事前共有キー）による認証を行います。
WPA2-PSK 対応の無線 LAN 端末であれば WPA-PSK 互換モードにより、従来から使用されている WPA 対応機器との通信もできます。

● WPS
Wi-Fi Protected Setup の略。Wi-Fi Alliance® が考案した、簡単に無線接続設定ができる規格です。親機（無線 LAN アクセスポイント）も子機（本製品やパソコンなど）も WPS に対応していれば、本体のセットアップボタンを押すだけで設定が完了して接続できるようになります。プッシュボタン方式以外には、PIN（Personal Identification Number）と呼ばれる機器固有の番号を入力・登録する PIN コード方式があります。PIN コード方式は主にパソコン向けであり、プッシュボタン方式はゲーム機やプリンターなどのように入力インターフェースを持たない機器向けの仕様です。

●アドホック（Ad-hoc）通信
無線 LAN アクセスポイントを経由しないで、直接それぞれの無線 LAN 端末間で通信するネットワークです。このタイプのネットワークは、アドホックモード、またはピア・ツー・ピア・ネットワークとも呼ばれています。

●インフラストラクチャ（Infrastructure）通信
無線 LAN アクセスポイントを経由して、それぞれの無線 LAN 端末が通信するネットワークです。インフラストラクチャモードとも呼ばれています。

●セキュリティ（Security）
無線 LAN では電波の届く範囲内であれば自由にそのネットワークへ接続することが可能になります。従って、悪意を持った第三者に通信内容を盗聴されたり、無断でネットワークに侵入されて個人情報の取り出しやデータの改ざん、システムの破壊などの行為を許さないために暗号化などの安全保護を行うことを推奨します。この安全保護のことをセキュリティといいます。

●チャンネル（Channel）
無線 LAN では通信のためにチャンネルが使われます。それぞれのチャンネルは予め決められたそれぞれ異なる周波数帯域を持っています。一つの無線 LAN 内の全ての無線 LAN 端末は、同じチャンネルを使う必要があります。

●ネットワーク認証
無線 LAN で使われる認証方式の総称です。本製品がサポートしている認証方式としては、オープンシステム認証、共有キー認証、WPA/WPA2-PSK などがあります。

●信号強度
無線 LAN 端末が無線 LAN アクセスポイント、または他の無線 LAN 端末から受信する電波の強さのことです。

●無線 LAN アクセスポイント（アクセスポイント）
無線 LAN アクセスポイントは無線 LAN ルーターとも言われています。個々の無線 LAN 端末は、ネットワークの中心にある無線 LAN アクセスポイントを介して通信します。また、無線 LAN アクセスポイントはセキュリティ管理も行っています。

ネットワークの仕様

有線 LAN

項目	内容	
モデル名	NC-190h	
対応 OS	MFC-J950DW/J950DWN： Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2008（ネットワークプリンターのみ）、Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.4.11 ～ 10.6.x MFC-J950DW/J950DWN 以外： Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2008（ネットワークプリンターのみ）、Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.3.9 ～ 10.5.x	
ネットワーク	10/100 BASE-TX	
プロトコル	IPv4	ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA (Auto IP), NetBIOS/WINS, LPR/LPD, Custom Raw Port/Port9100,DNS Resolver, mDNS, FTP Server,TELNET, SNMPv1, TFTP, Scanner Port, LLTD responder, Web Services (Print), LLMNR responder

無線 LAN（DCP-595CN、MFC-495CN/695CDN/695CDWN/935CDN/935CDWN/J950DN/J950DWN）

項目	内容	
モデル名	NC-200w	
対応 OS	MFC-J950DW/J950DWN： Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2008（ネットワークプリンターのみ）、Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.4.11 ～ 10.6.x MFC-J950DW/J950DWN 以外： Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2008（ネットワークプリンターのみ）、Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista®、Windows® 7、Mac OS X 10.3.9 ～ 10.5.x	
ネットワーク	IEEE802.11b/g ワイヤレス	
周波数	2400 ～ 2497MHz	
RF チャンネル	802.11b (1-14), 802.11g (1-13)	
接続モード	アドホックモード（802.11b のみ）、インフラストラクチャモード	
データ転送速度	802.11b	11/5.5/2/1 Mbps
	802.11g	54/48/36/24/18/12/11/9/6/5.5/2/1 Mbps
最大到達距離	70m（最も低いデータ転送速度） (数値はご使用の環境など、様々な要素によって変化します。)	
ネットワークのセキュリティ	SSID (ESSID), 128 (104) / 64 (40) bit WEP, WPA-PSK (TKIP, AES), WPA2-PSK (AES)	
プロトコル	IPv4	ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA (Auto IP), NetBIOS/WINS, LPR/LPD, Custom Raw Port/Port9100,DNS Resolver, mDNS, FTP Server,TELNET, SNMPv1, TFTP, Scanner Port, LLTD responder, Web Services (Print), LLMNR responder
電磁放射	VCCI Class B	

索　引

む

ゆ

る